

1 9 9 8

授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE

目次（心理学科）

教養教育科目（1年）

| | |
|-------------------|----|
| 文学・フィクションと人間 | 3 |
| 王朝文学の世界 | 4 |
| 話し言葉の文芸 | 5 |
| 西洋文学 | 6 |
| 近代日本の歴史 | 7 |
| 西洋史概説 | 8 |
| 東洋美術 | 9 |
| 演劇論 | 10 |
| 現代社会論 | 11 |
| 現代家族論 | 12 |
| 日本国憲法 | 13 |
| 市民生活と法 | 14 |
| 政治学入門 | 15 |
| 生活の経済学 | 16 |
| マスコミュニケーション概論 | 17 |
| 現代社会と女性 | 18 |
| 自然科学史 | 19 |
| 生命の科学 | 20 |
| 生物と環境 | 21 |
| 生活の科学 | 22 |
| 健康の生理学 | 23 |
| 宇宙と地球 | 24 |
| 総合科目 人間 | 25 |
| 総合英語 I - 1、2 | 27 |
| 選択語学 I - 1、2（英語） | 31 |
| 選択語学 I - 1、2（独語） | 38 |
| 選択語学 I - 1、2（仏語） | 40 |
| 選択語学 I - 1 海外語学研修 | 41 |
| スポーツA（バドミントン） | 42 |
| スポーツA（テニス） | 43 |
| スポーツA（バレーボール） | 44 |
| スポーツA（ダンス） | 45 |
| スポーツB（スキー） | 46 |
| 健康科学 | 47 |
| スポーツ科学 | 48 |

専門教育科目（1年）

| | |
|----------|----|
| 発達心理学 I | 51 |
| 発達心理学 II | 52 |
| 知覚心理学 | 53 |
| 学習心理学 I | 54 |
| 学習心理学 II | 55 |
| 臨床心理学 | 56 |
| 生理心理学 | 57 |
| 基礎技法演習 | 58 |
| 心理学演習 I | 59 |
| 心理学演習 II | 60 |
| 心理学総合演習 | 61 |

| | |
|-------|----|
| 心理統計Ⅰ | 65 |
| 心理統計Ⅱ | 67 |
| 情報処理Ⅰ | 69 |
| 情報処理Ⅱ | 71 |

司書科目（1年）

| | |
|----------|----|
| 生涯学習概論 | 75 |
| 図書館概論 | 76 |
| 図書館経営論 | 77 |
| 情報検索演習 | 78 |
| 図書館資料論 | 79 |
| 資料組織概説 | 80 |
| 資料組織演習 | 81 |
| 児童サービス論 | 82 |
| 図書及び図書館史 | 83 |
| 情報機器論 | 84 |

教養教育科目（2年）

| | |
|---------------|----|
| 総合英語Ⅱ－1、2 | 87 |
| 選択語学Ⅱ－1、2（英語） | 91 |
| 選択語学Ⅱ－1、2（独語） | 93 |
| 選択語学Ⅱ－1、2（仏語） | 94 |

専門教育科目（2年）

| | |
|--------------|-----|
| 心理学研究演習・卒業研究 | 97 |
| 心理学研究法 | 104 |
| 社会心理学 | 113 |
| 性格心理学 | 114 |
| 精神生理学 | 115 |
| 心理検査法 | 116 |
| カウンセリング | 117 |
| 児童相談 | 118 |
| 心理療法 | 119 |
| コミュニケーション論 | 120 |
| 非行の心理学 | 121 |
| 障害児心理学 | 122 |
| 健康心理学 | 123 |
| 心理学特講Ⅰ | 124 |
| 心理学特講Ⅱ | 125 |
| 精神保健 | 126 |
| 精神医学 | 127 |

司書科目（2年）

| | |
|--------------|-----|
| 図書館サービス論 | 131 |
| 情報サービス概説 | 132 |
| レファレンスサービス演習 | 133 |
| 専門資料論 | 134 |
| 資料特論 | 135 |
| コミュニケーション論 | 136 |
| 図書館特論 | 137 |

教養教育科目（1年）

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 文学・フィクションと人間 | 【担当者】 栗田廣美 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>小説、映画、ドラマの中の「世界」は、<u>どこにある</u>のだろう。それは、我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」だ。この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標です。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>随時、プリントを配布します。プリント以外の「読書課題」は、ありません。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>だいたい、次のような流れで、講義して行きます。 具体的作品は、プリント等を使って紹介＝解説します。</p> <p>【①「フィクション」について】</p> <p>例えば「小説」に書かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。……映画も、テレビドラマも同じこと。 しかし、我々は、<u>なぜ</u>、そんな「ウソッパチ」に接して、感動したり、中には「生き方が変わってしまう」人まで出てくるのか。</p> <p>【②「作品世界」の構造（しくみ）について】</p> <p>「作品世界＝もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのだろうか。……そもそも、それは、<u>誰か</u>「見ている」世界なのか。「語っている」のは「誰」なのか。少なくとも、いわゆる「作者」ではないはずだ。</p> <p>【③フィクションと「現実」について】</p> <p>小説・映画・ドラマは「現実ではない」という。では、「現実」とは何なのだろう。何が「フィクション」で、何が「フィクションではない」のか。</p> <p>……日本とヨーロッパの、近代文学作品を中心に、美術や音楽も視野に入れた講義になると思います。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて「書く」形式。 講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。 出席点を加味して、総合的に評価する。</p> | |

【授業科目名】 王朝文学の世界

【担当者】 久保木寿子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 日本の古典作品の多くが、受験文法のために使われるのみで、その内容を知られないままに終わってしまうのは、とても残念なことだと思われる。

優れた古典は、作品としての主張を持っており、現代に生きる私たちの解釈をこそ待っている。王朝文学のおもしろさに気づくことが、第一の目標である。ついで作品の主張の意味を時代に即して考えることにしたい。

【テキスト・参考書】

岩波文庫『竹取物語』・配布プリント

参考書は授業時に紹介する。

授 業 計 画

初期の物語作品からまず『竹取物語』をとりあげ、口伝えによるカタリから物語が生成してくるこの意味について、考えていく。

ついで『源氏物語』をとりあげて、物語の成熟のさまを見る。

- 1、様々な竹取の物語
- 2、カタリの話型と、話型による物語
- 3、難題婚譚の達成
- 4、かぐや姫とは何か（物語の主題）
- 5、物語の中の異界：『古事記』の場合・『源氏物語』の場合
- 6、源氏物語の論理：形代・予言・宿世・身分
- 7、源氏物語の主題：王法と仏法・社会制度と自我

【評価方法】

定期試験時レポート、及び授業時の「マトノメセ」による。

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 話し言葉の文芸 | 【担当者】 東喜望 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】 将来に資するために、口承文芸をとりあげます。 初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。 大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 1. 適宜に、講義資料を西己布します。 2. 参考書：岩波文庫『日本の昔ばなし』I、II、III（関敬吾編）</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>講義は、およそ以下の項目にそってあこないます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と文化 2. ことばと文化 3. 文芸の起源 4. 口承文芸 5. 昔話の形態 6. 昔話のルーツ | |
| 【評価方法】 定期試験のときに実施する筆記試験。 | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 西洋文学 | 【担当者】 衣川清子 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】 女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目標とします。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作品が生まれた背景、作品の内容と特徴、作者の横顔、その作品がどのように読まれてきたかなどを紹介し、あわせて女性をとりまくさまざまな問題を考える一種の文学案内にしたいと思っています。</p> <p>毎回の授業で一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』、シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、ルーシー・モード・モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリッパ・ピアス『トムは真夜中の庭で』、ローラ・インガルス・ワイルダー『大きな森の小さな家』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・パープル』、イサベル・アジェンデ『精霊たちの家』、エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』、テリー・マクミラン『ため息つかせて』、スザンナ・タマーロ『心のおもむくままに』などです。また、ミステリーのジャンルから、気になるいくつかの作品を取り上げる予定です。（作品リストは変更する場合があります。）音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読みたいと思っている学生の聴講を期待します。</p> <p>授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。</p> | |
| <p>【評価方法】 平常点と期末レポート（「書評」）の総合評価とします。詳細は授業中に説明します。</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 近代日本の歴史 | 【担当者】 伊香俊哉 |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>近代日本の歩みは戦争との関わり抜きには語れない。その戦争が近隣諸国・諸地域になにをもたらしたのかについての理解を深める。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特になし 参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>近代日本の歩みを主に対外的な軍事的展開を中心にみていく。そしてその中での日本軍の行動の違法性や犯罪性について各自に考えてもらいたい。</p> <p>以下のテーマを取り上げる予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇日本の大陸進出 ◇戦争違法化 ◇中国ナショナリズムと日本 ◇日本の中国侵略 ◇「従軍慰安婦」 ◇731部隊 ◇南京事件 ◇昭和天皇と十五年戦争 ◇東京裁判 ◇BC級裁判 ◇戦後補償問題 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席とレポート又は筆記試験により総合的に評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 西洋史概説 | 【担当者】 松本佐保 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>西洋の歴史について学ぶことは、何も過去について知識を得るだけでなく、現代の西洋世界がいかにして形成されたかを知ることである。現代のような国際社会において、西洋の歴史や文化を知ることが、国際理解を深める上で非常に重要である。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは用いないが、参考文献は随時指定する。また授業中に資料、プリントなども配布する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>歴史的な事件そのものを追うのではなく、その背景にある思想などによって歴史を説明する。社会・文化的側面に焦点をあて、多角的に歴史を見る目を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、古代西洋文明の形成：ギリシャとローマ時代 2、キリスト教と神聖ローマ帝国 3、ルネサンス時代 4、宗教改革と反宗教改革 5、スペインの黄昏とフランスの黄金時代 6、商業革命と産業革命 7、フランス革命とナポレオン戦争 8、ウィーン会議から社会主義の誕生まで 9、近代国民国家の形成 - アメリカ、ドイツ、イタリア - 10、第一次世界大戦 11、第二次世界大戦 12、戦後：冷戦時代とヨーロッパ統合 13、総括 | |
| <p>【評価方法】 平常点（出席点、但し私語などで授業を妨げたら減点）と、試験の結果に応じて評価する。</p> | |

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 東洋美術 | 【担当者】 山田 磯夫 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>東洋といっても範囲が広く、各地域ごとに相異なる文化圏に属し、異なった美術様式をもっているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこでこの講座では、アジアの諸地域にわたって強く影響をおよぼした仏教に焦点をあて、極東の国・日本で生み出された仏教美術、特に仏教彫刻について概観する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 : 辻惟雄監修『カラー版 日本美術史』美術出版社 久野 健 『仏像の歴史』 山川出版社</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>日本の仏教美術は近世以前の日本美術の形成・発展において常にその母胎となってきた。この講座では、まず仏教美術理解の基本である仏像の見方について学び、次いで古代から中世に至る仏像彫刻を取り上げ、彫刻様式の流れの理解にとめる。スライド使用。</p> <p>以下のテーマに沿って進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①はじめに一東洋の文化圏とシルクロード ②仏像の見方(1) ③仏像の見方(2) ④飛鳥時代の彫刻Ⅰ—仏教伝来と最初の仏像 ⑤飛鳥時代の彫刻Ⅱ—法隆寺の仏像と止利仏師 ⑥白鳳時代の彫刻 —旧山田寺の仏頭 ⑦天平時代の彫刻Ⅰ—葉師寺の仏像 ⑧天平時代の彫刻Ⅱ—東大寺の仏像 ⑨平安時代の彫刻Ⅰ—木彫の誕生と一木造 ⑩平安時代の彫刻Ⅱ—寄木造と仏師定朝 ⑪鎌倉時代の彫刻 —南都復興と慶派仏師 ⑫講義のまとめ | |
| <p>【評価方法】</p> <p>筆記試験</p> | |

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

左記3項による総合評価

| | |
|--|--|
| 【授業科目名】 現代社会論 | 【担当者】 民秋 言 |
| 【開講期】 1年前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えると、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>講義中に適宜指示する。</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>1. 「人間が生きる」ということ</p> <p>2. 人間の行動・行為</p> <p>3. 「人間らしく」生きることと欲求</p> <p>4. 人間を特徴づけるパーソナリティ</p> <p>5. 行動様式としての文化</p> <p>6. 集団生活のあり様</p> <p>7. 現代日本社会の諸相</p> | <p>－ 社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。</p> <p>－ 人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。</p> <p>－ われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。</p> <p>－ 人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。</p> <p>－ とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。</p> <p>－ 人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。</p> <p>－ 現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。</p> |
| <p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト</p> | |

| | |
|--|--|
| 【授業科目名】 現代家族論 | 【担当者】 民秋 言 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p> | <p>－ 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>－ 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一樣に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>－ 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家族のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>－ 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>－ 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。</p> <p>(1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>－ 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p> |
| <p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストを期末に実施</p> | |

【授業科目名】 日本国憲法

【担当者】 駒村圭吾

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

日本国憲法における統治機構(国のしくみ)と人権(自由や平等)について講義する。日常的審判を用いて平易に語るつもりである。また、判例・学説の紹介もさることながら、憲法感覚のようなものも伝えたい。

【テキスト・参考書】

板書を行うので、テキストは特に指定しない。
ただし、何ともよいので六法全書も携行してもらいたい。

授 業 計 画

日本国憲法の内容は、多岐にわたるが、その中から重要かつ日常的なものも採り挙げ、ごまかば毎回「読み切り」的に講義したい。今のところ、以下の項目を語るつもりである。

- (1) 憲法の基本原理・基本構造
- (2) 人権の主体(外国人, 天皇, 未成年者, 公務員, 在監者)
- (3) 表現の自由, 信教の自由, 政教分離
- (4) 生存権, 教育を受ける権利
- (5) 平等, 幸福追求権, 新しい人権
- (6) 天皇, 国防(9条)
- (7) 統治のしくみ(政治のしくみと裁判所)
- (8) フェミニズムと女性の権利
- (9) 死と生の自己決定(安楽死, 中絶, 死刑)

* なお、担当者は、教室管理に厳格であるので、この点注意されたい。私語が厳禁なのは当然のこととし、その他受講態度が不良の者は、たとえ初犯であっても、その場で単位の不授与を決定し、一切の抗弁を認めないことがあり得る。

* 実例を用いて、分かりやすく語るつもりである。予習は特に必要ではないが、毎回出席して克明にノートを取り、復習する努力はしてほしい。

【評価方法】

期末試験による評価 (場合によっては出席実績も勘案する。)

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 市民生活と法 | 【担当者】 武藤健一 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| 【授業目標】 2年後（あるいは1年後）、女性である皆さんが実際に社会に出ていって みて遭遇すると思われる事柄・問題について、法律という観点も加えて、自分 の今後（・大げさにいえば人生）を考えるきっかけをつくること。 | |
| 【テキスト・参考書】 教科書を使うかどうかは未定ですが、参考書として、 角田由紀子 著「性の法律学」（91年 有斐閣）、副田 隆重 他著 「ライフステージと法」（96年 有斐閣）の2冊をあげておきます。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>日本では女性がどのような存在としてあるのかということ、</p> <p>1° 恋愛・消費生活、2° 就職・労働、3° 結婚・離婚・家族、4° 老後・介護、と いう柱を立てて、社会学的に、法律学的に考察していくつもりです。</p> <p>また、授業数が10回未満というような事態になるとなかなか難しいのです が、それでも皆さんに直接関係のある事柄を扱う講義なので、更には皆さんが どのように考えているのかをこちらとしても知っておきたいので、様々な資 料を使いながら、かつディスカッション等もしながら授業を進めていきたい と考えています。その方が、受講している同年代の他の人たちがどう考えてい るかを知ることができるので、皆さんのためにもなると思います。</p> | |
| 【評価方法】 学年末に試験を行ない（おそらくレポート）、授業での出席点（・参加点） を加味して評価をしたいと思います。 | |

【授業科目名】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 政治とは権力闘争であることを、国内外の政治の実例をとおして理解する。

【テキスト・参考書】

中村勝範編著『運命共同体としての日本と台湾』(展転社、平成9年7月)

授 業 計 画

- I 多面的な観点、
核兵器、戦争、汚職=悪、反戦平和、クリーン政治=善といえるのか
- II 巧利主義という尺度
善悪ではなく、損得という尺度もある。
- III 政治の定義
政治：欲望の調整、権力闘争
市民運動という名の権力闘争もある。
- IV 日本政治における権力闘争
- V 国際政治における権力闘争
東アジア情勢を中心に

※ 受講中の私語・飲食は厳禁である(違反者は退室すること)

【評価方法】 ① 平常点(出席はとりません。適時、小テストを行うことがあります)

② レポート

| | | | |
|---|--------|-------|------|
| 【授業科目名】 | 生活の経済学 | 【担当者】 | 内山哲朗 |
| 【開講期】 | 1年 | 前期 | |
| 【授業目標】 | | | |
| <p>現代日本経済を「生活の豊かさ」の視点より取り上げ、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p> | | | |
| 【テキスト・参考書】 | | | |
| <p>特に指定しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する。</p> | | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| <p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域—— 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分—— 3 戦後日本の生活の変容 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理—— 5 「生活の豊かさ」と高齢社会 6 「生活の豊かさ」と環境問題 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター—— 8 生活福祉と社会政策 | | | |
| 【評価方法】 | | | |
| <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p> | | | |

【授業科目名】 マスコミュニケーション概論

【担当者】 瀬木博道

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 現代はマスコミに支配された時代といえる。
この状況を是省まえて、マスコミとジャーナリズムの本質と
差違を考へ、マスコミ全般の問題に是省み込んで外たい。
「知る権利の問題」に重点を置く。

【テキスト・参考書】 瀬木博道ほか著「コミュニケーションするPR」電通
テキスト： 瀬木博道ほか著「広報の基礎 I」日経広告研究所
参考書 同上「広報の基礎 I」日経広告研究所

授 業 計 画

- マスコミとは何か、現状 (上)
- 同 上 (下)
- ジャーナリズムとは
- 言論の自由と知る権利 (上)
- 同 上 (下)
- テレビの問題点
- 広告概論 (上)
- 同 上 (下)
- 広報概論 (上)
- 同 上 (下)
- マスコミのゆく — 新聞を中心に

【評価方法】

受講態度
出席状況

と見て、筆記試験で決める

| | |
|--|-------------------|
| 【授業科目名】 現代社会と女性 | 【担当者】 富永静枝 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| 【授業目標】 男女共生社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましいあり方や生き方を探る。 | |
| 【テキスト・参考書】 参考書:適宜授業中に紹介する。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業が見直され、働く女性が増大してる中で、女性をめぐる社会的状況は大きく変化しています。しかし一方では、不況下における女子学生の厳しい就職差別などに見られるように、女性が社会に出てから一人の人間として、自立して主体的に生きることは相変わらず困難な状況にあります。そこで変動する現代社会の諸問題、とりわけ家族、労働、教育、福祉の諸問題をジェンダーの視点から考えてみることによって、その問題状況を浮かび上がらせ、これからの望ましい男女のあり方や生き方を考えてみたい。</p> <p>内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)女性のライフサイクルの変化と性別役割分業、 (2)現代社会と女性労働 (3)高齢(化)社会と女性・家族・家庭 (4)男女共生社会に向けての世界の動き・日本の動き <p>を柱とし、それぞれ2~3回講義する予定であるが、学生の問題関心の寄せ方によって、変更することもある。</p> <p>授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。また身近な問題なども取り上げることによって、それらの諸問題が学生自身の現在と将来における自分自身の問題でもあることを認識できるようにし、問題解決への意欲を持てるようにしたいと考えています。</p> | |
| 【評価方法】 レポートその他。 | |

【授業科目】 自然科学史

【担当者】 柳下登

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 自然科学を学ぶことは、色々な公式、記号、概念等を覚えることだと思いき、それが理科嫌いの原因になっている。科学は暗記のためのものではない。人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学することは真善美を追求する文化系の諸活動と同根である。科学の歴史は人間の歴史である。ここでは科学を語るためではなく、発想を逆転し、人間を語るために科学の足跡を追うことにした。

【テキスト・参考書】

テキスト：自然科学入門：甲斐義幸、二宮勘輔（予定） 参考書：科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、物理学とは何だろうか（朝永振一郎）岩波新書、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書 他

授 業 計 画

1) 科学を成立させた人間の条件

- a. 森の生活者サル類がヒトをつくる
- b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道
- c. 四本足から二本足へ
- d. 道具が人間をつくる
- e. 脳とその入れ物（頭）の変化
- f. 生きること（生活）が自然についての理解を深める
- g. 道具で道具をつくる
- h. 採集から狩人へ
- i. 定住と栽培、牧畜の誕生
- j. 技術が先か科学が先か

2) 科学の芽生え

- a. ナイル川のもたらしたもの：暦、幾何学
- b. ピラミッドのもたらしたもの：数学
- c. ギリシアの自然学：自然の根源を求めて（タレスの「アルケー」、デモクリトスの「アトム」、アリストテレスの「四元素説」）

3) 近代科学の成立

自然学の克服：観察、実験、数学的推論

- a. コペルニクスによる天動説の否定
- b. ガリレイによるアリストテレスの運動通説の否定
- c. ニュートンによる地上の法則の天界への導入

4) 近代科学 2 話

- a. 星の一生と原子核反応：宇宙は膨張する
- b. バイオテクノロジー：遺伝子組換え食品、クローンと生命倫理

5) まとめ：a. 今日の自然像 b. わたしの研究史：ピートン物語

実 験：火をおこしてみよう。かまぼこの板と アジサイの枝（ $2 \times 20 \text{ cm}$ ）乾かしておく。

【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、自発的なテーマ設定の提出物を評価に加える。

| | |
|---|------------|
| 【授業科目】 生命の科学 | 【担当者】 小作明則 |
| 【開講期】 一年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>21世紀を迎えようとしている今日「生物の多様性」の維持は地球上の生物環境をより安全な状態で維持していくための大きな課題である。この生物の多様性を支えている「生命」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な理解を深め、さらに地上における「人類」が抱える今後の諸問題について概説する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト・参考書は特に指定しない。</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するためおおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できるかぎり実物を自分の眼で見、手でさわりバーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。以下に時間ごとのおおよその講義計画のタイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. ヒトの進化と地球環境の変化 7. 動物の発生とヒトの生殖 8. ヒトの発生と成長 <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩等、実物を見ながら生命について考えていこうと思っている。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>レポートあるいは筆記試験</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 生物と環境 | 【担当者】 吉川研二 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>下記の書を読破し、知的体力を養う 合成化学物質の環境汚染と生命とのかかわり 科学とは何か</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997.9 翔泳社</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>人類は多くの生物たちから様々な恩恵を受けてきた。しかしこの多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人類による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は私たち人類の将来にかかわってくる。</p> <p style="text-align: center;">“Today Birds Tomorrow Men”</p> <p>今から30年以上前に、海洋生物学者のRachel L. Carsonは『Silent spring』で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？知らないことが幸せなのか、知ることが不幸せなのか。</p> <p>授業は決して易しくはありません。幅広い基礎教養が要求されるはずです。今までの勉強がどれだけのものだったかが判ると思います。知る努力を惜しまず、共に考え続けていきたい。</p> <p>第 1章 前兆 2章 有毒の遺産 3章 化学の使者 4章 ホルモン異常 5章 子孫を絶やす50の方法 6章 地の果てまで 7章 シングルヒット 8章 ここにも、そこにも、いたるところに 9章 死の年代記 10章 運命の転機 11章 がんだけでなく 12章 わが身を守るために 13章 不透明な未来</p> | |
| <p>【評価方法】 平常点＋筆記試験</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 生活の科学 | 【担当者】 滝沢靖臣 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】 現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 授業の中で項目ごとに紹介する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗く。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。 6. 物質の状態は何によってきまるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酢は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。 12. 物質科学とエネルギー 13. 物質科学からみた衣類。高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 科学は地球を救えるか。 | |
| <p>【評価方法】 試験、レポート、出欠により評価する。</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 健康の生理学 | 【担当者】 明渡陽子 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| 【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2. 人体各器官独自の生理機能と臓器間の相互関係の理解 人体各器官の生理的な加齢変化と疾病と相違の理解を通して、健やかな老いについて考える 3. 代表的疾患の成因を理解し、疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の修得 | |
| 【テキスト・参考書】 | |
| 授 業 計 画 | |
| 1. 1) 健康の定義と健康観、2) 健康度の指標、3) 健康の推移、4) 健康管理の概念、5) 保健計画と健康教育、6) ヘルスプロモーション、7) 地域健康管理活動 2. 人体各器官独自の生理機能の理解と共に、各器官の生理的な加齢変化を細胞レベルおよび器官レベルで理解する。 1) 循環器系 2) 呼吸器系 3) 消化器系 4) 脳／神経系 5) 骨／筋肉系 6) 血液系、内分泌系 7) 泌尿／生殖器系 8) 耳鼻／口腔／皮膚系 3. (I) 代表的疾患の概要 1) 生活習慣病（悪性新生物、動脈硬化、高血圧、心臓病、脳卒中、糖尿病等） 2) 脳、神経疾患（老年期痴呆を含む脳血管障害） 3) 各種感染症（HIVウイルスも含む） 4) 精神疾患 5) 骨粗鬆症などの骨／運動器系疾患 6) その他（各診療科目の対象となる疾病、障害についての概要等） (II) 健康増進および疾病予防法 1) 食生活と栄養 2) 運動 3) 喫煙 4) アルコール 5) 休養とストレス | |
| 【評価方法】 筆記試験 | |

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 宇宙と地球 | 【担当者】 杉村新 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>皆さん知りたがり屋になってください。自然を知るのは、人生の基本です。そして、成るほどなあとと思うようになってください。それは自然を理解していく一步一步なのです。皆さんがそういう一步一步を感じる事ができれば、担当者の幸せであり目標でもあります。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：「新訂地学図解」（第一学習社） 参考書：（指定図書）「図解地学IA」（第一学習社）</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>最初の時間にアンケートをします。そのためにテキストが必要です。このアンケートの結果に基づいて、担当者の側で授業内容を“選択”します。第2回目の時間以後もテキストは必ず持ってくること。 講義中のおしゃべり厳禁。 毎回スライドを映しながら講義します。 授業は必ずしもテキストの順序（下記）通りではありません。順序未定。 テキストの内容： 地球の構造と働き，地震，火成岩と火山，地表の変化，地殻の変動，プレートの運動，古生物，資源・環境，大気の動き，海，太陽系，地球の運動，恒星と銀河。 こんなに沢山はできませんから“選択”するのです。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>持ち込み不可の試験で成績をつけます。自然科学は暗記物ではないから、テキストのまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点します。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 総合科目人間 | 【担当者】 黒田 瑛 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>本科目は前期、後期を通して開講され、副題を「人権と平和」とする。前期は人権についての理解を深め、「ヒューマニズム」とは何かを問う。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 特になし。 参考書 講義のなかで随時紹介する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>今、なぜヒューマニズムを問うのかを説くなかで、現代社会の特徴と諸問題を明らかにする。人間が人間として生き、人格として育つための条件となるのが、基本的人権の主張とその保障である。人権とは何かを論じ、人権の思想の歴史的発展と現代の状況を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒューマニズムの意義 2. 人間を考える 3. 人権の承認と保障 <ol style="list-style-type: none"> ①人権の主張と保障の歴史 自然法思想（J. ロック）、アメリカの独立宣言、フランスの人権宣言 世界人権宣言（国際連合）、日本国憲法 ②基本的人権の種類 自由権的基本権と社会権的基本権 ③教育・福祉と人権の保障 4. 人権思想の発展と現代の課題 <ol style="list-style-type: none"> ①権利保障の充実に求めて 女性の権利、子どもの権利 ②新しい人権の主張 プライバシーの権利、知る権利、環境権 ③新しい倫理と法 環境倫理学、生命倫理学 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>レポートの提出および授業への出席</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 総合科目人間 | 【担当者】 伊香俊哉 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>近現代の世界各地におけるいくつかの戦争をとりあげ、戦争とは何か、戦争は人々に何をもたらすのかといったことを考えることを通じて、平和とは、平和を生みだし、維持するための条件は何かとの間に接近したい。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特になし</p> <p>参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>授業ではまず戦争に興味をもってもらうことから始める。そのため戦争を題材としたドキュメンタリーや映画などを観てもらおう。その上で、その戦争がどのような歴史的な経緯で起こったのか、民衆にどのような規模の被害をもたらしたのかといったことを解説していきたい。</p> <p>授業では次のテーマを取り上げる予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ベトナム戦争 ◇中東紛争 ◇ボスニア紛争 ◇湾岸戦争 ◇ルワンダ紛争 ◇ABC兵器 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席とレポート又は筆記試験により総合的に評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 総合英語 I - 1、2 (心理学科) | 【担当者】 森田真澄 |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>英語能力(聞く、話す、読む、書く)を、総合的に向上させる。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定(開講時に指示)</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報に助けを得ながら、英語のリスニング能力及び読解力を伸ばす。また、英語での質問に英語で答える事により、話す力を向上させる。更に、習得した表現を使用して英作文も試みる。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p> <p>必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> | |
| <p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 総合英語 I - 1、2 (心理学科) | 【担当者】 清野茂子 |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>速読を中心に hearing, dictation を加えて、基本的英語の運用能力の養成を目的とします。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>Read the Age of Transition Sanshusha; ¥ 1800</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>2 2 章からなる話題を一年間通して読みます。授業に出席する前に必ず Reading の文は読んでくること。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p> | |

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 総合英語 I - 1, 2 (心理学科) | 【担当者】 藤田久美子 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>ビデオと音声テープを主な教材にして、英語の全体的な運用能力を、楽しく、無理なく向上させることを目標にする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 <u>Cousin William</u> - Essential Spoken English for Communication - (Hiroto Ohyagi 他編 SEIBIDO)</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テキストは、13世紀から現代イギリスに突然やって来たWilliamが様々な体験をするというドラマ部分と、イギリス文化を紹介するコメンタリー部分の両方から成り立っている。ドラマは平易な英語なので、すぐに理解できるだろうし、コメンタリー部分も、幾つかの単語や表現をチェックしておけば決して難しくはないと思う。会話とコメンタリーという二つのタイプの英語を勉強できるのが、このテキストの大きな利点だと思うので、この両タイプの英語表現に是非慣れてほしいと思う。</p> <p>授業では、ビデオを見た後、その内容理解のための質問に答え、また、テープを聞きながらの dictation, summary 制作などのタスクをやっていく。</p> <p>授業の準備としては、次にやる所の、listening dictation 以外の部分に必ず目を通して来ることが肝要である。特にコメンタリー部分は、必ず内容をしっかりと理解して来ること。さもないと、exercise やこちらの質問に答えられないということになる。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業態度（積極性など）を、だいたい同じ比重で見て評価の基準とする。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 総合英語 I - 1、2 (心理学科) | 【担当者】 長尾主税 |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>リスニングとリーディングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して、映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。いずれの方法においても、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。</p> <p>平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p> | |

| | |
|---|---------------------|
| 【授業科目名】 選択語学 I - 1, 2, (オーラル) | 【担当者】 スワソ, W, ローレンス |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;">ありません</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents | |
| <p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 (オーラル) | 【担当者】 森田真澄 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>(予定) First Time Abroad---初めての海外旅行--- 成美堂 (1,800円)</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テキストと共にビデオを併用し、英語圏への旅行に必要な基本的会話を習得する。</p> <p>必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p> | |
| <p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 選択語学 I - 1,2 (オーラル) | 【担当者】 清野茂子 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の中の「聞く」「話す」力を特に中心にして、基本的英語運用能力の養成を目標とします。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>Your Ear for English--Brush Up Your Listening Ability-- Kinseido; ¥950</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>毎時間の作業を重視しますので、必ず出席すること。 また、具体的な日常レベルの会話の練習も入れる予定。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ－１、２（リーディング） | 【担当者】 中島好伸 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>アメリカの短編小説を使って、英文を正確に読む力を身につける。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>英語が読めないと思っている人、「読めない」のではなく「読もうとしていないだけ」であることに目覚めよう。文学作品は、古今東西、同じ人間についての有り様を書いているのであるから多少の読む技術を身につけることで、あとは想像力と文脈によりある程度の内容理解は出来るはずである。この精神に立って、アメリカの短編小説を数多く読んで楽しもう。</p> <p>読む技術については、毎時間プリントを配布して、読むために必要な文法事項等は確認していく。あとは、レポーター（一人20行程度ずつ分担）に報告してもらいながら、内容の細かい把握につとめる。</p> <p>どれくらい読めているかは、各自で再度授業部分を読んでもらい、次の時間に、内容を10行程度にまとめてもらう。自分が分かっていない箇所などもこの時書いてもらって良い。</p> <p>単位が問題なのではない。英語が読めるようになるかが問題なのである。従って、主体的な参加が重要であり、「分かりません」「やってません」は許されません。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>内容のまとめと前期、後期それぞれ一回のレポート</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2 (リーディング) | 【担当者】 磯山滯一 |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>アメリカ、イギリスなどのすぐれた文学作品をよむことで、英文を読む力をのばし、英文を読む楽しさを体得する。読みとった内容が人生を考える糧となるようにしたい。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは配布するプリントで</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>前期</p> <p>Damon and Pythias / No Safe Was Safe(O. Henry) / The happy Prince / Anne of Green Gables(一部) / Mary Poppins(一部)</p> <p>後期</p> <p>Human Comedy(一部) / Little Women(一部) / Told by the Schoolmaster (J. Gawlsworthy)</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価</p> | |

【授業科目名】 選択語学 I - 1,2 (リーディング)

【担当者】 北澤恵美子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

英語の文章をより早くより正確に読めるようになることを目標とする。

【テキスト・参考書】

You Just Don't Understand: Women and Men in Conversation
Deborah Tannen (Eihosha)

授 業 計 画

Deborah Tannenというアメリカの言語学者が書いた *You Just Don't Understand* という本からの抜粋をテキストとする。内容は数多くの「会話分析」の結果から判断して、男女間の衝突やすれ違いはそれぞれの会話スタイルの違いによるところが大きいという主旨のものである。

授業は演習形式で行い、まずあるまとまった内容を持った段落を速読しておおざっぱな要旨をつかみ、それから単語や文法を確認しながら精読をする。

各自必ず辞書を持参すること。

【評価方法】

出席・平常点・期末テストすべてを考慮に入れて評価する。

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学 I - 1,2(リーディング) | 【担当者】 清野茂子 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>我々が、現在直面し、挑戦を受けている様々の話題を英文で読み、それに対する自分自身の考えを、確認していく力を身につける。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>Science in Nature and Health Asahi Press; ¥ 1600</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>20 unit からなる話題を、一年間通して読みます。授業を受ける前に本文は必ず読んで来ること。 また、ヒアリングの練習も少し入れる予定。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2独語(A) | 【担当者】 田中安行 |
| 【開講期】 1 年 前期 ・ 後期 | |
| 【授業目標】 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 | |
| 【テキスト・参考書】 田中安行他著「ドイツへ行こう」三修社、1998年 ドイツ語辞典については開講時に説明する。 | |
| 授 業 計 画 | |
| 1. 音声訓練――ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現――教材の重要表現を習得して、音声での自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話――会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 4. ドイツ語の文構造理解――ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解――ドイツの文化に関する資料からドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 6. 文章理解――辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造を理解しながらさまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 [授業方法] 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、ドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. ドイツ語会話の内容は日常会話を中心にして、やさしい表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進め、全体がなごやかな雰囲気です充実した学習ができるようにする。 | |
| 【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で行う。 | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ－1,2独語(B) | 【担当者】 川口眞理 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】ある言語を理解するにはその言語の仕組みを知ることが大切です。</p> <p>本講では簡単なドイツ語を話したり書いたりする際に必要となる文法を理解し身につけることを目指します。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>田中安行他著「ドイツへ行こう」 三修社 1994年</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テキストとプリント（随時配布）とを用い、</p> <p>「仕組みを理解しよう」「慣れよう」「使いこなそう」「確認しよう」の4ステップの練習を通じて文法を身につけていく予定です。</p> <p>対話練習や作文練習を通して楽しみながら文法の知識や語彙を少しずつ増やしていきましょう。</p> | |
| <p>【評価方法】 平常点および筆記試験</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2仏語(A)(B) | 【担当者】 村山知恵 |
| 【開講期】 1年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>英語以外の外国語を学ぶことは、他の世界の人々の生活、文化、歴史などを知るとてもよい機会となります。さまざまな人々の考え方を知るとても楽しいことです。文法は難しいけど、少しでもフランスのことが分かるとうれいすね。また4年制大学に編入したいときには役に立ちます。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>” <i>Bienvenu en France</i> ” : ビデオ教材 「フランス語ポイント文法」 : 文法教材</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1 毎週前半は文法の教材を用い、英語と同じアルファベットを使うのに英語とはかなり違う発音、文法を中心に学びます。(A)</p> <p>2 毎週後半の授業では、ビデオ教材を使い、実際のフランス語を耳で聞き、フランスの生活や文化を目で見ながら楽しみながらフランス語を習得します。(B)</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>試験による評価</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 選択語学 I-1 海外語学研修 | 【担当者】 中島好伸 |
| 【開講期】 1年 前期の事前指導、8月にLeeds Metropolitan Universityにおいて英語研修 | |
| 【授業目標】 イングランド中部のLeeds市でホームステイして、英国の家庭生活を経験しながら、上記大学において3週間の英語研修を行う。この経験を通して、英国の文化と生活に必要な英語力を身につける | |
| 【テキスト・参考書】 未定（開講時に指示） | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1. 事前指導（出発までに5回行う）では：</p> <ul style="list-style-type: none"> a) イギリスの文化・生活に関する基本的な表現を学ぶ。 b) 生活、習慣についての予備知識を学ぶ。 c) 研修に必要な情報や注意事項を与える。 d) 旅行会社からの情報を伝え、必要なパスポート等の手続きをする。 <p>2. 現地（8月6日出発8月31日帰国）では：</p> <ul style="list-style-type: none"> a) クラス分けをして効率的に学べるようにする。 b) 午前中に2コマ、午後は主としてキャンパス内外での見学、調査。 c) 週末にバスでexcursionを行い、歴史、文化、自然などに接する。 d) 家庭では宿題をしたり、家族と団らんして英語だけの生活をする。 e) 大学での研修後、ロンドンに戻り、市内見学をする。 | |
| 【評価方法】 1. 大学での研修は現地の教員が評価を行う。 2. 参加状態を記録しておいて帰国後、1.と合わせて総合的に評価する。 | |

| | |
|--|--------------------|
| 【授業科目名】 スポーツA バドミントン | 【担当者】 松岡由紀子 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| 【授業目標】 ・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 | |
| 【テキスト・参考書】 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>技能練習とゲーム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 3、サービスの練習 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 | |
| 【評価方法】 平常点（出席重視）とゲーム中に採点 | |

| | | |
|--|-----|------------|
| 【授業科目名】 スポーツA | テニス | 【担当者】 岡田光弘 |
| 【開講期】 1 年 前期 | | |
| <p>【授業目標】 *練習の仕方、試合の仕方、観戦の仕方などを、 段階的に技術を学んでいくなかで、習得すること</p> <p>*自分たちだけで試合ができるようになること</p> | | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない</p> | | |
| 授 業 計 画 | | |
| 自分たちだけで試合ができるように、以下の順で進行する。 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスでのゲーム 4. タイブレーク形式でのゲーム | | |
| 以下の技術についての基礎練習 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ボレー 2. ストローク 3. サービス | | |
| <p>【評価方法】</p> <p>・技術、態度、知識（小テスト）を評価する。</p> | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------|--|---------|--|--------|---------------------------------|--------|-----------|----------|---------------------------|-------|-------------------------------------|
| 【授業科目名】 スポーツA (心教) バレーボール | 【担当者】 村田 務 | | | | | | | | | | | | |
| 【開講期】 1年 後期 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業目標】</p> <p>バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動の習慣化をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的技能及び集団的技能 ・ 技能の程度に応じた練習法 ・ 審判法及び指導法 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 西川順之助 : バレーボール、成美堂、1995年。 斉藤秀明監修: バレーボールルールブック、有紀書房、1995年。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に、継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボールが続けられるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざしたい。</p> <p>学習内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">① 個人的技能</td> <td>・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング</td> </tr> <tr> <td>② 集団的技能</td> <td>・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ソフトバレーボールゲーム</td> </tr> <tr> <td>③ 指導技術</td> <td>・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法</td> </tr> </table> <p>授業の流れ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">① 全体活動</td> <td>・ 共通課題の解決</td> </tr> <tr> <td>② グループ活動</td> <td>・ 個別課題の解決 ・ 指導法、練習法の習得</td> </tr> <tr> <td>③ ゲーム</td> <td>・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得</td> </tr> </table> | | ① 個人的技能 | ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング | ② 集団的技能 | ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ソフトバレーボールゲーム | ③ 指導技術 | ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 | ① 全体活動 | ・ 共通課題の解決 | ② グループ活動 | ・ 個別課題の解決 ・ 指導法、練習法の習得 | ③ ゲーム | ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得 |
| ① 個人的技能 | ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング | | | | | | | | | | | | |
| ② 集団的技能 | ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ソフトバレーボールゲーム | | | | | | | | | | | | |
| ③ 指導技術 | ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 | | | | | | | | | | | | |
| ① 全体活動 | ・ 共通課題の解決 | | | | | | | | | | | | |
| ② グループ活動 | ・ 個別課題の解決 ・ 指導法、練習法の習得 | | | | | | | | | | | | |
| ③ ゲーム | ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得 | | | | | | | | | | | | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常試験（平常点、実技等）</p> | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 スポーツA ダンス | 【担当者】 飯塚真穂 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| 【授業目標】 <p>エアロビクスダンスをアレンジした振付を中心に、ダンスを通して健康で美しい身体、積極的な行動を可能にする身体をつくることを目標とする。</p> | |
| 【テキスト・参考書】 <p>使用しない。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1. ストレッチ+腹筋のトレーニング より大きく自由に体を動かせるように柔軟性を高める。 正しい姿勢の保持、腰痛の防止にも有効な腹筋力を強化する。</p> <p>2. ダンスプログラムの練習 ◇歩く、走る、跳ぶといった日常的な動作を基本とするステップで構成された3～4分程度の短い振り付けを覚える。 使用曲：“Try Me”，“Season”など 応用：グループで隊形変化をつける。 ◇バレエやスペイン舞踊、ファンキーなどを簡単にアレンジした振り付けを練習する。</p> <p style="text-align: center;">※必ず運動可能な服装に着替えて出席すること。</p> | |
| 【評価方法】 <p>実技テストを行うが、出席点と参加態度を特に重視する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 スポーツB スキー | 【担当者】 村田 務 |
| 【開講期】 1年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スキーの特性について理解するとともに、その知識と技能（歩行、滑走、回転など）について習得する。 2 雪上環境に対する対処能力を高める。 3 スキーに親しみ愛好する態度を伸ばす。 | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 全日本スキー連盟編：日本スキー教程、スキージャーナル社、1994年。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>今日、日常生活の場から自然が失われ自然との共存が課題となってきた。自然環境を活用したスキーは、スポーツとしてだけでなく、健康の増進やレクリエーションとしてもきわめて効果的である。しかし、雪上でのスキーは、さまざまな自然条件の影響を受けやすく（事故災害）、また、技能の習得において個人差が生じやすい。</p> <p>そこで、自然に触れ合うことの楽しさや喜びを十分に体験できるように、自由練習や個別指導を重視する。また、斜面や雪質の状態に応じた適切な技能と判断力が得られるように技能クラス別の指導を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、日 程 1999年1月下旬 計画・準備 2月下旬 スキー実習（3泊4日） 2、場 所 学内及び上越国際スキー場（新潟県塩沢町） 3、参加者 学生35名、教員3名 4、内 容 計画・準備 スキー実習 第1日目 移動、スキー実技 第2日目 スキー実技、講義 第3日目 スキー実技、評価 第4日目 スキー実技、移動 実習内容 歩行、登行、方向転換、滑降 回転（プルークボーゲン、プルークターン、パラレルターンなど） 用具のメンテナンス 5、費 用 約50,000円（交通費、宿泊費、保険料など） *他に昼食費が必要となる。 *スキーセット、ウェアをレンタルする場合、約8,000円、約6,000円 が加算される。 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常試験（意欲・努力、実技等）</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 健康科学 | 【担当者】 池森隆虎 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>現代社会における健康問題について幅広い知識を身につけ、氾濫する健康情報、流行に対して真偽を的確に判断する能力、それを活かすことのできる応用力を備えられるようにする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない。</p> <p>参考書：参考図書、文献等は講義のなかで紹介していく。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1.あなたの両親は大丈夫？（そういうあなたにも...） —成人病の予防と対策—</p> <p>2.薬をじょうずに使いましょう。 —薬の有効な利用法、問題点—</p> <p>3.スマートな健康美人になろう！ —ダイエットの方法、問題点—</p> <p>4.楽しい海外旅行をするために（「何とかなるさ」じゃ..）。 —海外での健康問題、安全対策—</p> <p>5.他人事？エイズや性病について考えよう。 —性感染症の現状と予防—</p> <p>6.人が苦しんでいます...その時、あなたは何ができますか？ —応急処置法—</p> <p>7.運動は健康にいいの？ —運動の問題点、障害、活用法—</p> <p>8.世の中が変われば病気も変わります。 —現代病、新しい健康問題—</p> <p style="text-align: right;">（順不同）</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>小レポート（不定期）と試験</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 スポーツ科学 | 【担当者】 岡田光弘 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを見て楽しめるようになること、 　　スポーツを試してみたいくなること ・ スポーツを社会現象として、批判的に見る眼を養うこと | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>AERA MOOK「スポーツ学のみかた」朝日新聞社</p> <p>日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>以下のようなトピックを扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツと科学：スポーツ科学の全体像 2. ジャンプ競技と揚抗比 3. ポブスレーとクロストレーニング 4. スポーツの技術・道具の変化と科学 5. 滑降競技と乳酸 6. 滑降競技と環境問題 7. ドーピング問題と日常生活 8. スポーツとアイデンティティ：ラクロス、カーリング 9. スポーツとルール 10. スポーツと遊び 11. スポーツ解説と分析 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。</p> | |

專門教育科目（1年）

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】発達心理学Ⅰ | 【担当者】神田信彦 |
| 【開講期】1年 前期 | |
| 【授業目標】心の発達のプロセス及びその研究方法を学ぶ。 | |
| 【テキスト・参考書】 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>前半では、乳児期から青年期前期までの心理的諸側面の発達について講義する。後半では、認知、言語、思考や社会性の発達などの領域ごとに発達のプロセスを講義する。講義予定は概ね以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは 2. 乳児期の心理的発達(2回) 3. 幼児期の心理的発達(2回) 4. 学童期の心理的発達(2回) 5. 青年期前期の心理的発達 6. 認知の発達 7. 言語と思考の発達 8. 情動の発達 9. 対人関係の発達 | |
| 【評価方法】試験と小レポート。出席重視。 | |

| | |
|---|-----------|
| 【授業科目名】 発達心理学II | 【担当者】 林 潔 |
| 【開講期】 1年前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>青年期の人々の特徴と、行動様式についてとりあげます。 あわせて、人間の問題に対する心理学の基本的アプローチの方法について考えます。 これについては、関係する授業も他にありますので、この時間では青年期の問題についての精神分析的アプローチの紹介に4講時ほどとりたいと思います。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 山田和夫「成熟拒否」、稲村博「思春期挫折症候群」、荘厳舜哉「親と子の病理」、 霜田静志、他「自己分析を語る」、小此木啓吾「モラトリアム人間の時代」、 クラウス、他「親と子のきづな」、深沢道子、他「拒む心・求める心への接近」、その他</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 序：青年心理学の背景：心理学の発展とその応用面への適用。 2. 発達段階としての青年期。 3. 発達課題と自我同一性（identity）をめぐる問題。 4. 人間の問題へのアプローチ：学習理論，ゲシュタルト理論 5. 精神分析概説（1）：Freudの思想 6. 同 （2）：libidoの発達（1） 7. 同 （3）：libidoの発達（2），自我の防衛（1） 8. 同 （4）：自我の防衛（2） 9. 適応障害：青年期の適応障害の概観 10. 講演会：心理学科卒業生「心理学と私」（仮題）：特別講師 11. 青年期の問題行動：神経症，自殺，非行 12. 同 ：うつ 13. 青年期の問題への対処：カウンセリング，心理療法の役割 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，期末試験</p> | |

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 知覚心理学 | 【担当者】 金子 尚弘 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 授業の進行に応じて紹介する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」 知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。 2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」 私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。 3、感覚器官と感覚刺激の話――視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」 我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。 4、色の知覚、ビデオ「Colour」 色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。 5、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚 視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。 6、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」 錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。 7、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」 さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。 8、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」 我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。 9、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」 私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。 10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚 音の知覚や、音源定位を実際に体験する。 11、味と匂いの知覚、時間の知覚 味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。 12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度 知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。 <p>その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術―初めて見る世界―」</p> | |
| <p>【評価方法】 学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 学習心理学Ⅰ | 【担当者】 荻野七重 |
| 【開講期】 1年前期 | |
| 【授業目標】 人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、行動分析の手法でもある条件付けについて理解することを主な目的とする。 | |
| 【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。なお、このテキストは1年後期の「学習心理学Ⅱ」のテキストとしても使用する。 「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著（サイエンス社） | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1. 学習とはなにか</p> <p>2. 古典的条件づけ</p> <p>始めに I. P. パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づけについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活に見られる事例を通して、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験によって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。 テキスト 1章</p> <p>3. オペラント条件づけ</p> <p>B. F. スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨床場面に応用されるかを示す。 テキスト 2章</p> <p>4. 社会的学習</p> <p>自分自身の直接的体験によってではなく、他人の体験や経験を見聞きすることで起こる学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。 テキスト 4章</p> | |
| 【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。 | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 学習心理学Ⅱ | 【担当者】 荻野七重 |
| 【開講期】 1年後期 | |
| 【授業目標】 思考および記憶に関する多くの実験的研究を通して明らかにされた事実や理論を紹介する。思考については、特にことば、概念の獲得、推理の発達的变化の過程を見ていく。また、記憶については、記憶の過程、記銘する材料、時間的要因、個人の持っている知識等と記憶の関係等を考える。 | |
| 【テキスト・参考書】 「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 (サイエンス社) | |
| 授 業 計 画 | |
| 1. 問題解決と推理 問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達と推理 (J. P. ピアジェ) 演繹的推理と機能的推理 創造性 (集中的思考と分散的思考) テキスト 5章 2. 概念過程と言語の獲得 概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考 テキスト 6章 3. 記憶と忘却 記憶とは何か 記憶の研究法 (記銘材料と測定法) 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術 テキスト 7章 4. 有意味材料の記憶 エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容 テキスト 8章 | |
| 【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。 | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 臨床心理学 | 【担当者】 若山隆良 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>カウンセリング・心理療法とは実際にどのようなもので、どのように行われるものなのかということを知ることがこの講義の目的にしたい。できるだけ実際の事例に触れながら講義し、その中で理論的な解説も行ってゆきたい。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>カウンセリング事例集、別冊『発達』、ミネルヴァ書房</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>授業ではできるだけ多くの事例に接することができるようにしたい、その中で学生諸君が自らの経験や感性を通して、それぞれ考えたこと、感じたことを発表してもらおう。そのために、できるかぎり学生諸君にとっても親しみやすい事例をとりあげてゆきたい。</p> <p>この講義は事例を読みながら受講生同士のディスカッションによって進めてゆく、自分の考えや感想を発言し、他人の考えを聞くコミュニケーションの体験がこの講義の中心であることを学生諸君は承知しておいていただきたい。</p> <p>どのような事例をどのような順序でとりあげるかについては、授業の中で受講者諸君の意見や希望を取り入れながら、適宜きめてゆく。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>ディスカッションへの参加(授業中の発言)を特に重視する 授業中の発言と期末のレポートによって評価を行う。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 生理心理学 | 【担当者】 多喜乃 亮介 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心を成立させる脳の働きを理解するために、基本的な神経系の構造と働きについて学習する。神経系で生じる物質的・構造的変化が私たちの行動とどのように結びつくのか、心にどのような影響をもたらすのか、といった視点から生理学的研究成果を理解する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>二木宏明、『脳と心理学』、朝倉書店、1984 森 昭胤、『脳 100 の新知識』、講談社、1991 時実利彦、『脳の話』、岩波新書（青版）、1962</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>まず神経系の分類と構造に関する知識を習得する。次に、神経細胞の発達的变化、神経細胞同士の情報伝達方法、環境刺激の知覚と反応、記憶に関係する構造的変化、代表的な脳内中枢機能、といったトピックスを取り上げる。さらに、神経細胞間の情報伝達に必要な物質的基盤を学び、心の病に対する生物学的アプローチおよび心に作用する薬物に関する基礎的な理解を得る。</p> <p>以下の項目に従って講義を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の座をもとめて [心身二元論, 骨相学, 機能局在論, 神経回路] 2. 中枢神経系の分類と構造 [脊髄, 脳幹, 小脳, 間脳, 基底核, 辺縁系, 大脳皮質] 3. 末梢神経系の分類と構造 [脊髄神経, 脳神経, 体性神経系, 自律神経系] 4. 神経系を作り上げるもの [ニューロン, シナプス, グリア細胞, インパルス] 5. インパルスの伝導とシナプス伝達 [閾値, 跳躍伝導, シナプス後電位, 伝達物質, イオン・チャネル, 促進と抑制] 6. 反射中枢 [脊髄, 脳幹] 7. 脳の機能地図 [感覚野, 運動野, 聴覚野, 視覚野] 8. 脳の高次機能 [失認, 失行, 失語, 分割脳, 健忘, 連合野の機能] 9. 神経系に働く物質 [向精神薬, 薬物中毒] | |
| <p>【評価方法】</p> <p>授業中の課題提出および定期試験</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 基礎技法演習 | 【担当者】 菅本康之 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>「女性」の心理の形成を「言語論」、「セラピー」、「文化論」の三つの視点から探る。これまでの心理学が持っていた「男性中心主義」的な問題点を文化分析を通してあきらかにし、各自がその解決の方向を考える出発点とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：L.アikenバウム+S.オバック『フェミニスト・セラピー』（新水社） ロビン・ノーウッド『愛しすぎる女』（読売新聞社）</p> <p>参考書：適宜紹介する</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1 授業計画と評価の基準・方法の説明</p> <p>学生自己紹介1 ※自己紹介を通して、自分というものを現状においてどう評価しているか、自己認識を言葉にする。</p> <p>2 学生自己紹介2および「言語と無意識」 ※「言語」と「無意識」がどういう関係にあるのかを理解する。</p> <p>3 <対象関係理論とジェンダー・アイデンティティ> ※ジェンダー・アイデンティティとは何かを理解したうえでのフェミニスト・セラピーの位置づけ</p> <p>4 <「女性心理」の具体例>（『愛しすぎる女』をテキストにして） ※「女性心理」が産み出す「病」を理解する。レポート提出</p> <p>5 女らしさの組立て その1、<母＝娘関係のなかで形成される心理> ※自分の母娘関係を対象化する手がかりとする。</p> <p>6 ビデオ観賞1 『エミリーの未来』 ※映画を通して母娘の関係を理解する</p> <p>7 ビデオ観賞2 『エミリーの未来』 ※映画をマンガ『イグアナの娘』と比較してみる。</p> <p>8 「家族」と「女性」 ※「家族」のなかでの女性の位置を理解する。</p> <p>9 女らしさの組立て その2、<文化と性 日本のセクシャルハラスメントの現状> ※自分達が生きている社会がどういう社会であるかを理解する。</p> <p>10 女らしさ（男らしさ）の組立て その3、<メディアとジェンダー> ※メディアがいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する」</p> <p>11 フェミニスト・セラピー その1（事例） ※いくつかの事例をとおしてフェミニスト・セラピーが取り組むべきことを理解する。</p> <p>12 フェミニスト・セラピー その2、<技法> ※セラピストに必要な最低限の技法を理解する。</p> <p>13 まとめ ※「女性」心理と文化の関係を理解できたか。</p> | |
| 【評価方法】 リポートと授業時の感想文 | |

【授業科目名】 心理学演習Ⅰ 【担当者】 荻野、金子、神田、多喜乃、倉沢、中丸、西村、高橋

【開講期】 1年前期

【授業目標】

基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量化や図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。

【テキスト・参考書】

「実験演習の手引き」と、各実験毎に実験方法とデータ整理方法などをまとめたプリント配布する。

授 業 計 画

15～16人のグループに別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。

実験は担当教員から実験の目的、方法について説明を受けた後、互いに実験者と被験者となり、実験を行いデータを集める。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の実験の前日までに各自レポートを書き、提出する。

実験は、1回の授業枠で終了する比較的簡単なもの（実験A）と、条件設定がやや複雑になったり、データの量が大きくなったりするため2週にわたって行われるもの（実験B）から構成され、実験の順序はグループによって異なる。

導入実験：ミューラー・リャーの錯視

実験A：鏡映描写 大きさの恒常 色名称 情報の伝達と変容

実験B：反応時間 要求水準

全体の予定は以下の通り。但し、順序の多少の変更があり得る。

- 第 1回 オリエンテーション（実験時の注意、レポートの書き方等）
- 第 2回 導入実験
- 第 3回 実験A-1
- 第 4回 実験A-2
- 第 5回 実験A-1のレポートの講評
- 第 6回 実験A-3
- 第 7回 実験A-4
- 第 8回 実験B-1（第1週）
- 第 9回 実験B-1（第2週）
- 第10回 実験B-2（第1週）
- 第11回 実験B-2（第2週）
- 第12回 実験B-1のレポートの講評

【評価方法】

実験のレポートの評価による。

| | |
|--|--------------------------------|
| 【授業科目名】 心理学演習Ⅱ | 【担当者】 荻野、金子、神田、多喜乃、倉沢、中丸、西村、高橋 |
| 【開講期】 1年後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、動物実験のほか、実験室に限定されない場面での調査や心理テストなども行う。調査では、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法、心理テストではその実施方法と判定・診断法等を学習する。また、動物の実験経験し、人以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>各実験毎に実験方法、データの処理方法、実験結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>実験演習Ⅰと同様、15～16人のグループに別れて行う。実験Ⅰと異なり、4つの主要な実験（調査等を含む）は2週を単位として行われる。ほかに1週間単位の心理テストが2種類入る。実験Ⅰと異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2年生の卒業研究発表会に参加し、感想文を書き、提出しなければならない。</p> <p>実験／調査：オペラント条件づけ 項目分析 SD法 ソシオメトリー</p> <p>心理テスト：YG性格検査 内田クレペリン精神検査</p> <p>全体の予定は以下の通り。</p> <p>第 1回 オリエンテーション（演習Ⅱで求められる内容について）</p> <p>第 2回 実験／調査1（第1週）</p> <p>第 3回 実験／調査1（第2週）</p> <p>第 4回 心理テスト1</p> <p>第 5回 実験／調査1のレポートの講評</p> <p>第 6回 実験／調査2（第1週）</p> <p>第 7回 実験／調査2（第2週）</p> <p>第 8回 実験／調査3（第1週）</p> <p>第 9回 実験／調査3（第2週）</p> <p>第10回 実験／調査4（第1週）</p> <p>第11回 実験／調査4（第2週）</p> <p>第12回 心理テスト2</p> <p>第13回（卒業研究発表会）</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>実験／調査のレポートおよび、心理テストのレポートの評価による。</p> | |

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 心理学総合演習 | 【担当者】 林 潔 |
| 【開講期】 1年後期 | |
| 【授業目標】 心理学の英文報告の読解です。 英文の心理学書に馴れることが目的です。あわせて、専門用語についても、英語で理解します。 | |
| 【テキスト・参考書】 Copyを用意します。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>Intelligence</p> <p>What is intelligence?</p> <p>Is there a general factor of intelligence?</p> <p>How is intelligence measured?</p> <p>What is an IQ?</p> <p>How are IQ scores distributed in the person?</p> <p>Is there a genetic basis for intelligence?</p> <p>Are IQ tests reliable?</p> <p>Are IQ tests valid?</p> <p>Do IQ tests measure creativity?</p> <p>Are IQ tests fair to all cultural groups?</p> <p>Do the faults of IQ tests outweigh their usefulness?</p> <p>Australiaの高校生向きのテキストのcopyを使います。 逐語訳が中心です。必ず予習をしてくる下さい。また英和辞書は必ず持参して下さい。</p> | |
| 【評価方法】 平常点 | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 心理学総合演習 | 【担当者】 神田信彦 |
| 【開講期】 1年 後期 | |
| 【授業目標】 心理学の基本的な知識を身につける。さらに心理学関連の文献を批判的に読む力を養成する。 | |
| 【テキスト・参考書】 資料を配布する。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>各回ごとに、あらかじめ決められた発表担当者が担当部分について要約を作成した上で発表を行なう。それに基づいて履修者全員で討論を行なう。</p> <p>以下のテーマを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな心理学の立場 2. 心理学の研究の進め方 3. 認知・感情の発達 4. 動機づけ 5. 期待 | |
| 【評価方法】 レポート及び平常点。出席重視。 | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 心理学総合演習 | 【担当者】 池田善英 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| 【授業目標】 ①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。 ②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。 | |
| 【テキスト・参考書】 テキスト：渋谷昌三著 「心理実験で人の心を科学する」（KAWADE夢新書） | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>他人を判断するとき、ステレオタイプや偏見に基づくことがあります。このような勝手な解釈を避けるため、学問としての心理学では客観的な判断をしようと試み、その一環として実験という手法を使っています。テキストは対人場面の心理について、社会心理学の立場から、実験的な手法を使って検討しています。</p> <p>学生の皆さんはテキストに書いてあることを、身近な経験と照らし合わせながら読んで下さい。その内容で納得のいくこともあるでしょう。しかし鵜呑みにしてはいけません。「ちょっと違うな」と感じることを探し、どこがどう違うのかを明らかにするよう考えてみて下さい。</p> <p>テキストを読み進めるに当たって、まず始めは全体で輪読していきます。受講生の皆さんがある程度慣れたところで、分担しながらレジメに基づいて報告してもらうようにします。要領よく報告することは、なかなか難しいものです。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって分かりやすく説明して下さい。</p> <p>なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。一方で必要に応じて、別の資料も紹介したいと思います。また成績評価に際しては授業時の活動を重視しますし、受講生の皆さんが積極的に参加してくれるよう期待します。なおテキストの構成は、以下の通りです。</p> <p style="margin-left: 40px;">第一章 無意識に行動してしまう心理のカラクリ 第二章 相手の心が反応する対人心理の秘密 第三章 環境にたやすく操られるあなたの心の不思議 第四章 自分の思いを巧みに相手に伝える心理術 第五章 心の奥に隠れている本当の自分を探り出す</p> | |
| 【評価方法】 ①レポート ②平常点 | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 心理学総合演習 | 【担当者】 高橋浩子 |
| 【開講期】 1年 後期 | |
| 【授業目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1 心理学の基礎知識の習得 2 女性のライフサイクルにおける危機と、そのサインとして現れる様々な症状について 3 女性を取り巻く環境についての考察を行う | |
| 【テキスト・参考書】 <p style="text-align: center;">女性のためのライフサイクル入門 岡本祐子・松下美智子編 福村出版</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>このテキストでは、主に女性のライフサイクル上の課題について扱っています。特に臨床的に生じやすい問題に重点をおきながら、ライフサイクルをたどっていきます。受講生は、自分自身の問題や、生活、家族について考えるきっかけを得ることでしょう。また、外国の出版物等も紹介しながら、生き方に関する考え方のちがいについても取り上げていきます。討論への積極的参加を期待します。</p> <p>テキストで取り上げる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期 女の子として生まれるということ 児童期 性別の認知と受容 思春期 体と心の変化 他者との出会い 青年期 自分らしい生き方をもとめて 若い成人期 仕事 結婚 母親になること 中年期 中年期に見られる心身の変化とアイデンティティ危機 老年期 老化と病気のちがい 役割の変化 女性と自己実現 | |
| 【評価方法】 <p style="text-align: center;">平常点</p> | |

| | |
|--|-------------|
| 【授業科目名】 心理統計 I | 【担当者】 金子 尚弘 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| 【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。特にこの授業では、記述統計学の習得に重点を置くとともに、電卓の使用法も併せて習得する。 | |
| 【テキスト・参考書】 心理・教育のための統計法 山内光哉 著 サイエンス社 授業で使用する電卓の機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は他の授業でも頻繁に用いる。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について 統計計算機の使い方 2、1章 統計法と測定値 さまざまな変数、測定操作、加算記号とその規則 3、2章 度数分布と統計図表 量的変数における級間の幅と級間数の決め方 質的変数の度数分布 4、度数分布図と統計図表の書き方 質的変数の図示法、量的変数の図示法、統計図表の書き方、見方 5、3章 中心傾向の測度 測度とは――平均値、中央値、最頻値 測度の比較、調和平均 6、4章 得点の散布度 散布図の概念、四分領域、分散と標準偏差 質的データの散布度 7、5章 正規分布と相対的位置 正規分布、標準正規分布、z値、パーセンタイル点 8、6章 直線相関と直線回帰 2変数の相関と回帰 相関係数と決定係数 相関と予測、回帰と推定 | |
| 【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。教科書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。 | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 心理統計Ⅰ | 【担当者】 荻野七重 |
| 【開講期】 1年前期 | |
| 【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。 記述統計学の習得。電卓の有効な操作と、統計値の求め方の習得。 | |
| 【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。 「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社) 6章まで 7章以降は心理統計Ⅱで使われる。 | |
| 授 業 計 画 | |
| 1章 統計法と測定値 2章 度数分布と統計図表 3章 中心傾向の測度 4章 得点の散布度 5章 正規分布と相対的位置 6章 直線相関と直線回帰 授業では電卓を用いる。使用する電卓は、数値を入力することによって簡単な統計値を算出することのできる機能を持ったものであり、機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに、指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。 電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。また、試験の際にも使うことができる。 | |
| 【評価方法】 2～3回の中間テストと定期試験の結果で評価する。 テストには テキスト、ノートおよび電卓を持ち込むことができる。 | |

| | |
|--|-------------|
| 【授業科目名】 心理統計Ⅱ | 【担当者】 金子 尚弘 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】 心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方と、用い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 心理・教育のための 統計法 山内光哉 著 サイエンス社</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。</p> <p>2、7章 母集団と標本 母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量標準誤差－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること</p> <p>3、8章 統計的仮説の検定と区間推定 統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性 母分散がわかっている場合の仮説検定 母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か 平均値の区間推定－母集団の平均値はどれくらいか</p> <p>4、9章 2つの平均値の差の検定と区間推定 独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定</p> <p>5、10章 分散分析入門－1要因の場合 分散分析における仮定 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合） 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合）</p> <p>6、11章 より複雑な分散分析－1要因計画 要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈</p> <p>7、12章 カイ2乗検定 カイ2乗を用いたさまざまな検定 独立性の検定－生まれ順は政治的態度と関係があるか 比率の等質性の検定－2つの集団の年齢分布は等しいか</p> | |
| <p>【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。教科書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 心理統計Ⅱ | 【担当者】 荻野七重 |
| 【開講期】 1年後期 | |
| 【授業目標】 心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得する。 | |
| 【テキスト・参考書】 テキストとして、心理統計Ⅰで用いたものを引き続き使用する。 「心理と教育のための統計法」 山内光哉 （サイエンス社） 7章から | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合</p> <p style="padding-left: 40px;">(11章 より複雑な分散分析 要因計画)</p> <p>12章 カイ2乗検定</p> <p style="padding-left: 40px;">(13章 順位による統計法)</p> <p style="padding-left: 40px;">(14章 ピアソンの r の検定と種々な相関係数)</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行う。従って11、13、14章は授業の進行に応じて行う。</p> | |
| 【評価方法】 2～3回の中間テストと定期試験の結果で評価する。 テストには テキスト、ノートおよび電卓を持ち込むことができる。 | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 情報処理 I | 【担当者】 森田信一 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】 コンピュータを使った情報活用能力をつけるために、ネットワークの活用と文書による表現技術を身につけることを目標とする。ネットワークでは、電子メールによるコミュニケーションとインターネットによる情報検索を行なう。文書による表現技術では、ワープロと作図ソフトの活用を行なう。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>ネットワークの利用技術と、文書表現技術を身につけるため、次のような手順で授業をすすめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータについての概説と基本的な操作方法 2. 文字入力と編集の実習 3. インターネット活用とワールドワイドウェブによる情報検索 4. 電子メールの設定と活用 5. ワードプロセッサによる文書作成 6. ビジネス文書や各種文書形式の作成 7. 表や図を含む文書デザインの方法 <p>以上をテキストに沿ってすすめる。課題の提出は紙のレポートと電子メールを活用する。</p> | |
| <p>【評価方法】 日常のレポート提出や出席などによって評価する。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 情報処理 I | 【担当者】 丸山 有紀子 |
| 【開講期】 1年前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>電子メール、インターネットによる情報検索の実習を通して、ネットワークを利用し情報収集する技術を学ぶ。また、ワープロソフトを使っての文書の作成・編集を通して情報をわかりやすく表現する技術を学ぶ。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを使い始めるにあたっての説明 コンピュータの各部分の名称，使い方，フロッピーディスクについての説明，ログオンとログオフ，IDとパスワード。 2. 文字の入力 漢字変換，カタカナ，アルファベットの入力の仕方。 簡単な文章の入力。 3. ネットワークの活用 WWWによる情報検索、電子メールの利用 4. ワープロソフトの利用 文字の挿入，削除，複写，移動。 文書保存，呼び出し。 印刷の仕方，印刷スタイルの設定。 文字サイズ，文字飾りなど。 5. ビジネス文書の作成 ビジネス文書の形式。 6. ビジュアルな文書の作成 文書中への図の取り込み。 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席，授業中におこなう課題。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 情報処理Ⅱ | 【担当者】 丸山 有紀子 |
| 【開講期】 1年後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトを使った実習により，データを表に整理し，処理，グラフ化することで，数値データをわかりやすく表現する．データベース機能を使い，収集したデータを有効に活用することを学ぶ．</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説，基本的な操作，データ入力の仕方． 2. データ入力 数値データの入力，計算（算術関数など），罫線，セルの形式． ワークシートの保存，呼び出し． 印刷． 3. グラフ作成 グラフの表示，グラフの種類，グラフの編集． グラフの印刷． 4. データ処理 統計関数． t検定，相関係数の計算． 5. データベース作成 データベースの説明． データの入力． データの並べ換え，データの抽出． 6. ワードプロ文書への貼り付け | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席，および授業中におこなう課題．</p> | |

司書科目（1年）

| | |
|---|-----------|
| 【授業科目名】 生涯学習概論 | 【担当者】 藤田博 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義・方法について解説する</p> | |
| 【テキスト・参考書】 | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。 2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。 3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学習を進める | |
| <p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点・レポート提出</p> | |

| | |
|--|-------------|
| 【授業科目名】 図書館概論 | 【担当者】 椎葉 倣子 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会における図書館について考察する。図書館の機能・種類から始めて、図書館政策・行政など社会との関連を学ぶ。これらの基本的な知識は司書科目すべてを理解するのに役立つであろう。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：今まど子・中村初雄編著「図書館学基礎資料」樹村房</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>図書館とその機能</p> <p>図書館の種類と現状</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国立図書館 2. 公共図書館 3. 大学図書館 4. 学校図書館 5. 専門図書館 6. 類縁機関 <p>図書館の組織と運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館政策・行政・法令 2. 施設 3. 図書館資料・組織化 4. 図書館サービス 5. 図書館員 6. 図書館評価 <p>図書館協力とネットワーク</p> <p>図書館の自由</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p> | |

| | |
|--|-------------|
| 【授業科目名】 図書館経営論 | 【担当者】 椎葉 倣子 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】図書館の任務・使命の一つは、利用者への資料と情報の提供である。同時に先人から受け継いだ文化遺産（図書館資料）を次の時代へ伝えていくことである。</p> <p>そして情報化時代の現在、図書館をどのように発展してゆけばよいのか、図書館の運営について学ぶ。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：図書館・情報センターの経営（情報学シリーズ4）勁草書房</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>授業目標で述べた任務・使命を果たすためには、視野を図書館内はもとより、館外にも向ける必要がある。設置母体や地方自治体であり、外部機関との連携についても考察する。具体的には以下の事項を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館経営の必要性 2. 図書館と自治体行政 3. 図書館業務 4. 図書館組織 5. 図書館の職員 6. 図書館サービス計画 7. 図書館施設と整備 8. 図書館業務、サービスの評価 9. 図書館ネットワーク | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 情報検索演習 | 【担当者】 倉澤寿之 |
| 【開講期】 1年後期 | |
| 【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と検索方法を学ぶ。コンピュータを使 った情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・ 検索についても知識を得ることをめざす。 | |
| 【テキスト・参考書】 特に指定しない。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報検索の基本的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・概念の抽出 ・索引項目の構造 ・見出し語の選定 ・シソーラスの意義と活用 2. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 3. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 | |
| 【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出させる。 また、ネットワーク上での試験を行う。 | |

| | |
|---|---------------------|
| 【授業科目名】 図書館資料論 | 【担当者】 椎葉 <u>倣</u> 子 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>利用者に資料を提供したり、情報を提供するの、図書館の重要なサービスの一つである。そのサービスを支えている図書館資料全般について学ぶ。そして資料選択・収集の自由を通して図書館の自由について考察する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは4月に指定する</p> <p>参考書：新図書館資料論（現代図書館学講座2）河井弘志編著 東京書籍</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>図書館資料とは 意義・種類・特性</p> <p>資料の出版流通（図書中心）</p> <p>資料の構成 構成方針 収集・受け入れ（評価・選択） 管理・保存・利用 除架・廃棄</p> <p>非図書資料 逐次刊行物・AV資料・マイクロ資料・CD-ROM</p> <p>各種コレクション</p> <p>図書館資料と図書館協力</p> <p>図書館資料と知的自由</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート提出</p> | |

| | |
|--|-------------|
| 【授業科目名】 資料組織概説 | 【担当者】 椎葉 倣子 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>図書館が収集・蓄積した資料を、利用者が自在に利用出来るような方策を学ぶ。即ち、目録法、主題目録法、分類法などである。情報化時代を迎えた現在、図書館にもコンピュータが導入されて、組織法も影響を受けている状況にも言及する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】テキスト：資料組織概説（新・図書館学シリーズ9）大城善盛ほか著 樹村房</p> <p>参考書：日本目録規則 1987年版 改訂版、日本十進分類法 第9版、基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版（図書館、教養科資料室所蔵）</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>図書館の所蔵する豊富な図書館資料――一例を本にとれば、どのように書架に本を並べれば利用しやすいか。また著者や書名が分かっている本が図書館に所蔵しているか、〇〇についての本にはどんなものがあるか、を調べるには目録による。――を利用者に提供するための方策を学ぶ。具体的には以下の事項である。</p> <p>資料組織の意義・機能</p> <p>目録法：日本目録規則 1987年版を中心に</p> <p>主題コントロール</p> <p>分類法：日本十進分類法を中心に</p> <p>件名目録法：基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版 を中心に</p> <p>その他：シソーラスなど</p> <p>書誌データベース</p> <p>書誌ユーティリティー、標準化など</p> <p>（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点・テスト・レポート提出</p> | |

| | |
|---|---------------------|
| 【授業科目名】 資料組織演習 | 【担当者】 椎葉 傲 子 |
| 【開講期】 1 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】 資料組織概論と関連づけて各論が理解できるように演習する。具体的には、図書の組織化――目録、分類、主題分析――を行う。また、外部の書誌データを使う際の問題も考える。そして図書館内での目録利用について利用者にサービス出来るようにする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】 テキスト：資料組織演習（新・図書館学シリーズ10）岡田靖他著 樹村房</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>目録：記入作成、カード・データ形式により基本的書誌データを学ぶ。 日本目録規則1987年版 改定版による。</p> <p>分類：日本十進分類法第9版による。</p> <p>件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目をあたえる。 以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する。</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p> <p style="text-align: center;">（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p> | |
| <p>【評価方法】 課題提出及び出席平常点</p> | |

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 児童サービス論 | 【担当者】 東喜望 |
| 【開講期】 1 年 前期 | |
| 【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤を成す最も重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍を、どのようなサービスによって読ませていくかを考察する。 | |
| 【テキスト・参考書】 講義資料(プリント)を配布する。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>講義の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばと思考 2. 人間の言語活動 3. 「読む」ことの意義 4. 少年少女期の特性と読書傾向 5. 児童図書としての良書とは何か 6. 読書指導と選書の方法 7. 児童図書とサービス | |
| 【評価方法】 筆記試験 | |

| | |
|--|-------------|
| 【授業科目名】 図書及び図書館史 | 【担当者】 西村 汎子 |
| 【開講期】 1 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣） 石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。</p> <p>第1章 日本—近代以前の図書と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙の移入と書写の始まり (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生 (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立 (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり <p>第2章 日本—近代以後の情報化の発達と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代図書館の発生—公立図書館の二つの道 (2) 日本資本主義の発達と図書館—公立図書館の定着 (3) 大正デモクラシーと図書館—臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館 (4) 軍国主義体制下の図書館—思想言論の抑圧・戦争の被害 (5) 敗戦後の図書館—図書館の自由に関する宣言の採択 (6) 民衆のための図書館—日野図書館のスタート・自治体行政の前進 (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 情報機器論 | 【担当者】 倉澤寿之 |
| 【開講期】 1年前期 | |
| 【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メール、ネットワークニュースの利用などの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざす。 | |
| 【テキスト・参考書】 特に指定しない。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ワードプロセッサとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・編集機能の活用 ・保存機能の活用 ・思考ツールとしての活用 ・プレゼンテーションツールとしての活用 3. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メール、ネットワークニュースの仕組み ・電子メール、ネットワークニュースによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 | |
| 【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出させる。 また、ネットワーク上での試験を行う。 | |

教養教育科目（2年）

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2（心理学科） | 【担当者】 森田眞澄 |
| 【開講期】 2年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>英語能力(聞く、話す、読む、書く)を、総合的に向上させる。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定(開講時に指示)</p> | |
| <p>授 業 計 画</p> | |
| <p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報に助けを得ながら、英語のリスニング能力及び読解力を伸ばす。また、英語での質問に英語で答える事により、話す力を向上させる。更に、習得した表現を使用して英作文も試みる。</p> <p>必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> | |
| <p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p> | |

【授業科目名】 総合英語Ⅱ-1, 2 (心理学科)

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】

1年次に培ってきたリスニング、リーディング等の英語の運用能力を維持し、さらに向上させることを目標とする。

【テキスト・参考書】

Cousin William 3 (ロンドンでの活躍)

授 業 計 画

- 早く英語運用能力を向上させるために、近年よくビデオ教材が用いられている。確かにこの方法は、視覚と聴覚の両方を使うので、その場の状況や話し手の表情までよく分り、話がより理解しやすいということが言えると思う。そこでこのクラスでは、ビデオ教材付きのテキストを用いて授業をしたいと思っている。ビデオを見ながら、内容理解のためのQ&A、書き取り、書き換え(言い替え)、簡単な英訳等のタスクをやっていく。これに加えて、英国文化を紹介するコメンタリーも読んでいくので、その面での訓練にもなると思う。
- 授業時間内に様々なタスクをやって力を付けていく方法を取る。特別な理由がある時を除いて、出席しただけ授業を欠席しないようにしてほしい。
- 授業でやったexerciseのいくつかを、必ず提出してもらう。

【評価方法】 出席状態、毎回の練習問題の結果、そして平常の授業態度(積極性など)を総合して、評価基準とする。

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2（心理学科） | 【担当者】 北澤恵美子 |
| 【開講期】 2年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>ヒアリング・講読・英作文・発話を毎回バランスよく行うことで英語の総合的な力を身につける。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p><i>Introductory Stories for Reproduction 2</i> (L.A.Hill, Oxford University Press) <i>Advanced Stories for Reproduction 2</i> (L.A.Hill, Oxford University Press)</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>日本人の英語力は読む力と聞く力・書く力に大きな違いがあるのでテキストを2冊使う。どちらも1ページの小話からなり、最後はイギリス的なユーモアで笑わせる。</p> <p>Introductoryの方は比較的易しいのでヒアリングの練習に、Advancedは講読に使う。それぞれに英語の質問がついているので、それに英語で答えることによって英作文および発話の力を養う。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点・期末テストすべてを考慮に入れて評価する。</p> | |

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 総合英語Ⅱ－１、２ | 【担当者】 東郷裕 |
| 【開講期】 ２年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>比較的平易な英文を読むことによって、英語の基礎的学力と教養を身につけることを目標とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>M・キャリア／C・エバンズ, 『シネマへの招待, Spotlight on Cinema』, 北星堂</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>この講義では「英語を読んで理解し、考える」ということを主眼に置いて進めていきたい。一見するとこのあたり前のように思われることが、実は英語を学ぶ上では一番大切なことなのである。暗記や丸覚えだけが英語の学習方法ではないことを、年間を通じて学んで欲しい。講義ではテキストを中心に進めていくが、随時関連するプリントを配布して訳読だけの講義にならないように心がけたい。また、テキストの扱う分野だけにとどまらず、英語を通じて様々な分野にまで視野を広げていきたい。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>レポートまたは試験を検討中。</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2 リーディング | 【担当者】 長尾主税 |
| 【開講期】 2年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>4年制大学への編入を希望する者を対象として、読解を中心に試験の問題に対応できるだけの能力を身につけることを目標とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>各人のレベルを確認した後、プリントを配布してテキストに代える。参考書等については開講時に指示する。なお、必ず英和あるいは英英辞典を持参のこと。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>4年制大学への編入試験には、専門科目や小論文、面接などのほかに、英語が課せられることが多い。そのため編入試験に際して、「論文や専門科目は良くできたが、英語が障壁となった」という事態を免れるために、最低限必要な知識を獲得し、問題に対応できるようにせねばならない。試験の具体的な問題内容としては、英文和訳が中心であるが、大学によっては、文法、整序作文、発音・アクセント、慣用表現等多岐にわたり、大学入試とほぼ変わらない範囲で出題されているものもある。つまり、編入試験をのりきるためには、もう一度大学の入学試験を受けるのと同等の準備が要求されることになる。</p> <p>各人は、本学を受験した当時の記憶を甦らせ、ブラッシュ・アップに励むことになるが、授業では初歩的な文法を理解した上で、長い論理的な文章を読み解く訓練をする。英語による入学試験を経験したことのない者でも、意欲があれば、努力如何で苦手意識克服し、複雑な構造をもつ長い文章を読みこなせるようになる。積極的に授業に参加し、質問し、疑問点を解消して、「次を読もう」という意欲をもてるようになっていただきたい。</p> <p>実際の試験まで日が限られている(11月下旬から順次実施される)ため、自主学習の負担は大きくなるが、学習すべき教材とその方法については各人のレベルに応じて異なるので、一人ずつ個別にアドバイスする予定である。</p> <p>より具体的なことについては開講時に述べる。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席等、平常点によって評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 選択語学II-1、2(オーラル) | 【担当者】 森田真澄 |
| 【開講期】 2年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定(開講時に指示)</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語能力を向上させる。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p> <p>必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> | |
| <p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅱ－1、2 独語 | 【担当者】 川口眞理 |
| 【開講期】 2年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>一年間で学んだドイツ語の知識をさらに補いつつ、簡単な童話を読んで基礎がためをします。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>Mein Grossvater und ich (邦題:「ひいおじいさんとぼく」)</p> <p>James Krüss 著 コピー配布</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>北ドイツ、北海のヘルゴラント島の漁師で詩を作るのが大好きな「ひいおじいさん」がひ孫の「ぼく」に毎日荒唐無稽で愉快なお話をしてくれます。アンデルセン賞をはじめ数々の青少年文学賞を受賞した作者Krüss自身の幼年時代をモデルとした楽しい物語です。各ページのかわいい挿絵も理解の助けとなるでしょう。</p> | |
| 【評価方法】 平常点および筆記試験 | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 選択語学Ⅱ－1,2 仏語 | 【担当者】 村山知恵 |
| 【開講期】 2年 前期 ・ 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>今年は学生の皆さんのご要望から、フランス映画のシナリオと一緒に読み、映画鑑賞をしながら、フランスを知る授業をやります。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>” Au revoir, les enfants ” ” Si on allait au cinéma ”</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>4、5編のシナリオを用意するつもりです。教科書としては一冊のみ買っていただくこととなりますが、まだ未定です。その他は、プリントで用意致します。映画を鑑賞しながらフランス語が習得できればいいですね。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>レポートによる評価</p> | |

專門教育科目（2年）

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 専任教員 他 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを目指す。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて指導教員が指示する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていく。前期の心理学研究演習では、先行研究に関する文献の講読や予備調査、予備実験などを行い、後期の卒業研究で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的である。</p> <p>研究成果は1月の「卒業研究発表会」で心理学科の内外に向けて発表される。また、研究報告書（レポート）は個人ごとに作成し、後期末に提出する。</p> <p>研究テーマの決定方法については、心理学科から指示がある。</p> <p>次のページ以降に、担当教員の提示したテーマを掲載する。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。</p> | |

| | |
|--|------------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 荻野 七重・小林 玄 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを旨とする。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて指導教員が指示する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テーマ1 日常記憶研究</p> <p>3年続けてこのテーマを取り上げてきました。出来事の記憶、場所の記憶、顔の記憶、物語の記憶、知識の記憶、散文の記憶など、実験を通してそれぞれに予想通りの、あるいは予期に反した結果を得てきました。フラッシュバルブ記憶、メタ知識、既知感、物語スキーマ、スクリプト、記憶のランドマークといった用語を知っていますか。今年度も引き続きこの方向で実験的な研究をしたいと思います。今までに実験したことのない、例えば、物の記憶、名前の記憶、会話の記憶、声の記憶など、まだまだ興味深いテーマが残っています。こうした中から具体的なテーマを探していきたいと思います。始めはグループに分けないで進め、具体的なテーマが見えてきたところで各自の希望にしたがって2グループにしたいと思います。</p> <p>テーマ2 幼児期の発達に関する研究</p> <p>同じ幼児期の子供でも年齢によって判断基準や価値基準が異なり、それに伴って行動も変化するものです。このグループでは、日々めざましい成長をとげる幼児期の子供の行動の質的变化に注目し、保育園や幼稚園に在園する幼児の観察・調査を通じて研究を進めていきたいと思います。主なテーマとしては、母子関係、友人関係などを提案する予定ですが、自主的にテーマを決めて研究して頂いても結構です。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。</p> | |

| | |
|---|-------------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 神田 信彦・菅沼 真樹 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを目指す。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて指導教員が指示する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テーマ1 人前に出ると緊張するのは何故か？</p> <p>人は家族や親しい友達の前だと自然に振る舞えるのに、見知らぬ人や大勢の人の前ではいつもの自分と違ってすることがあります。恥ずかしさや緊張で「言おうと思っていたことが言えなくなってしまう」「何がなんだわからなくなってしまう」ということになってしまいます。ではどうしてそのような状態になってしまうのでしょうか。前期にこの原因を説明する理論を学び、後期にはそれに基づいて実験や調査を行う予定です。</p> <p>テーマ2 いじめを考える</p> <p>子どもたちのいじめが、社会的問題として注目を集めるようになって 20 年経過しています。いじめをなくすためにこれまでも多くの研究や実践が行われていますが、いじめは相変わらず大きな問題です。ここでは、いじめに関連する個人内要因と集団的要因を検討します。</p> <p>テーマ3 対人経験と人格特性の発達の研究</p> <p>人格形成において、その人が今までどのような対人経験を積み重ねてきたのかということは、重要なことだと考えられます。人が生涯に出会うであろう重要な他者（親、きょうだい、友人、恋人、配偶者、子どもなど）とどのような関係を結ぶのかには、個人差がみられます。ここでは、それらの人々についてどのようにイメージし、記憶しているかということも含めて、人格特性の発達について対人経験を切り口にして検討していきたいと思います。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。</p> | |

| | |
|--|-------------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 倉澤 寿之・大石 千歳 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを旨とする。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて指導教員が指示する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テーマ1 携帯型コミュニケーション機器利用についての調査</p> <p>10代後半から20代の年齢層で、ポケットベルや携帯電話といった携帯型のコミュニケーション機器が普及しています。これらを使うこと、あるいは持っていることは彼らにとってどのような意味があるのでしょうか。こういった機器をどのように使っているのかといった実態調査を行うグループや、これらの機器に対して持つイメージの調査などを行うグループなど、いくつかのグループに別れて、現代のコミュニケーションを考えてみたいと思います。</p> <p>テーマ2 社会的アイデンティティが他者評価に及ぼす影響</p> <p>社会には国家、民族、職業、学校などの、社会集団とよばれる様々な集団があり、人は社会の一員として、何らかの社会集団に所属している。ある社会集団の一員であるという意識（これを社会的アイデンティティという）は、個人が自分自身のアイデンティティを確立する際によりどころになると同時に、他者を評価する際に、よその集団の成員を差別したり、自分と同じ集団の中の劣った人や異質な人を排除するなどの影響を及ぼす。このグループでは、他者を評価する際に社会的アイデンティティが果たす役割について、質問紙調査によって研究を行う。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。</p> | |

| | |
|---|----------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 林 潔・内山理恵 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを旨とする。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて指導教員が指示する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テーマ1 ストレスとストレス処置について</p> <p>ストレスと適応はもとより、ストレスと疾病との関係にも関心をもたれています。ストレスへの対応の仕方が、coping skills です。どんな問題にどう対応するか、いろいろな coping skills の方法について調べてみましょう。</p> <p>テーマ2 ジェンダー（男性性・女性性）についての研究</p> <p>男らしさ（男性性）・女らしさ（女性性）は、社会によって、時代によって少しずつ変化しています。今現在、私たちはどんな人を「女性的」あるいは「男性的」と感じているのでしょうか。また、心理的に「女性的」な人は外見や行動も「女性的」なののでしょうか。これらの事柄について、調査を通じて検討していきます。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。</p> | |

| | |
|--|-------------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 金子 尚弘・寺田 雅英 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| 【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを目指す。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。 | |
| 【テキスト・参考書】 必要に応じて指導教員が指示する。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テーマ1 応用行動分析1</p> <p>ヒトの行動は、弁別刺激－自発的応答－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものに行っているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを考えてみます。</p> <p>テーマ2 応用行動分析2(脳性麻痺の児童)</p> <p>脳性麻痺によって知的な遅れのある子どもが週に1度白梅学園に通っています。脳性麻痺とは、脳の障害がもとで運動障害を呈する疾患の総称で、手足の麻痺、知的な障害、言語的な障害を伴う場合もあります。演習では、毎週土曜日の午後、対象児と一緒に勉強し成長の様子を研究としてまとめます。対象児は、現在、たし算の暗算に取り組んでいます。前期は、暗算課題を子どもと一緒に勉強しながら、応用行動分析的な療育方法を勉強し、後期は、前期の経験を踏まえて、対象児に合わせて各自が学習計画を立て、その成果を卒業研究としてまとめます。</p> <p>テーマ3 応用行動分析3(自閉症)</p> <p>自閉症の人は、同じことを繰り返し行ったり、自分を傷つける行為をしたり、他人に対する配慮や協調性が欠けていますが、このような人の治療に応用行動分析はとても効果的であると考えられています。前期は、自閉症の子どもや人と一緒に勉強したり仕事をしながら、自閉症の特徴をよく理解し、応用行動分析的な療育方法を勉強します。後期は、前期の経験を踏まえて、自閉症児・者の問題点を各自で見つけ課題を考え、その成果を卒業研究としてまとめます。</p> | |
| 【評価方法】 平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。 | |

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 多喜乃 亮介 |
| 【開講期】 2 年 前期・後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを目指す。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて指導教員が指示する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>テーマ1 注意のはたらきに関する研究</p> <p>私たちは注意を向けているものだけを見ているのでしょうか。それとも知らず知らずのうちに注意を向けていないことにも影響を受けているのでしょうか。用心深くしているつもりでも、うっかりと見落とししたり、聞き漏らしたりすることがあります。逆に、それほど注意を向けていないことでも、ちょっとした変化に敏感に反応することもあります。あるいは、積極的に別のことに注意を集中して妨害されないように努力したり、努力の甲斐なく邪魔されてしまったりします。はたして私たちはどのようなことに注意を向けやすいのでしょうか。今年度は、この「注意」の働きに注目して研究を進めてみようと思います。希望者がある場合は、脳波のような生体情報の測定を利用した実験も試みます。</p> <p>テーマ2 精神テンポの研究</p> <p>人にはそれぞれ固有のテンポがあるという考えがあります。せっかちな人、のんびりした人という表現は日常でもよく使います。ときには人とテンポを合わせて仕事をしなければならないかもしれせん。うまくテンポが合う場合もあれば、どうしてもテンポがずれてしまうこともあるでしょう。ちょっとした「間」の取り方の違いで印象が変わってしまうこともあります。そのようなことでもストレスに感じてしまうこともあれば、「呼吸」のあったテンポで快適に過ごすこともあります。案外わたしたちの生活はこのような「テンポ」や「リズム」に影響を受けていると思います。はたして、いつでも同じテンポが私たちの内側にあるのでしょうか。それとも場面に応じて変わってくるのでしょうか。テンポの測定をしてみたり、テンポの印象を調査して考えてみましょう。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 神田信彦 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| 【授業目標】 心理療法の基本的な考え方を知り、さらに自己理解、自己啓発の一つとしてコラージュ療法を体験し、自己を捉え直す。また、心理療法としてのコラージュ療法の意義と限界を理解する。 | |
| 【テキスト・参考書】 資料を配布する。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>・ 演習の進め方は概ね以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理療法とは 2. コラージュ体験（5～6回） 3. 事例研究（5～6回） 4. まとめ（連作した自分のコラージュを整理しレポートする） | |
| 【評価方法】 レポートと平常点。 | |

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 多喜乃 亮介 |
| 【開講期】 2 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>実習を通して脳波の測定手法を学び、人の脳活動についての理解を深める。また、簡単な実験を行い、認知機能を測定する場合の制約と実験的工夫について学ぶ。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書： 大熊輝雄, 『臨床脳波学』, 医学書院, 1983 宮田 洋 他, 『生理心理学』, 朝倉書店, 1985 時実利彦 他, 『新脳波入門』, 南山堂, 1979</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>前半は脳波計の操作および電極装着の練習を中心に進める。実際の操作を通して、脳波がどのような現象を記録したものであるのか、どのような注意が必要か、脳波以外の生体電気現象にはどのようなものがあるのか、などについて学習する。また、各自が測定を行い、自発脳波の特徴、意識水準と脳波の関係などについて学習する。</p> <p>次に、実験場面を設定して、脳で営まれる働きがどのように脳波上に反映されるのかを観察する。また、臨床脳波で異常と分類される現象はどのようなものであるのかを学習する。</p> <p>以下の項目に従って進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点 2. 脳波計の操作 入力部, 増幅部, 出力部の構造と操作 3. 電極の装着 国際 10-20 法, 探査電極, 基準電極, 接地電極 4. 電極装着実習 5. 記録実習 閉眼安静時記録, 睡眠時 (入眠期) 記録 6. データ整理 1 波形認識, アーチファクト, 周波数と振幅の測定 (藤森法) 7. 実験 課題遂行時の脳波 (精神作業時, 音楽 / 騒音聴取時, など) 8. データ整理 2 周波数分析, 加算平均 9. 脳波異常 脳波の発達的变化, 波形異常 | |
| <p>【評価方法】</p> <p>電極の装着と脳波計の操作で 50 点, 各自の記録した波形を分析し, レポートとして提出したものを 50 点として評価する。</p> | |

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 中丸茂 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| 【授業目標】 行動の定義、測定、予測、制御を実際に実習形式で行いながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、行動分析学の方法を、日常生活や臨床場面、コーチングなどへ応用する力も養う。 | |
| 【テキスト】 講義時にプリントを配布（書き込み形式） ＊講義終了時には、行動分析学の自分だけのテキストが出来上がる 【参考書】 アルバートら 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社 super string SR21 1995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社 杉山ら 1995 行動分析学入門 基礎編 産図テキスト | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。その分析単位は、環境と行動についての時間的、空間的關係（随伴性）であり、様々な現象に対して、客観的なアプローチを行っている。</p> <p>本講義は、基礎知識の取得期（講義）とその応用（実習）という2つの形式をとる。前半は、俗信行動（占い、相性、心霊現象）や情動行動（恋愛）などをテーマとして、実験行動分析を中心に講義を行い、後半は、ダイエットや遅刻をなくすなど、各受講者の希望にあわせて、応用行動分析の方法を身につけてもらう。</p> <p>【行動分析学の基礎知識】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学って何？ あの世は科学の対象になるか？ 死人に口なし！！ 2. 三項随伴性 恋人が冷たくなるとなぜ不機嫌になるのか？ 3. 迷信行動 当たるも八卦当たらぬも八卦？ 4. 情動行動 ヒトはもちろんのこと、ラットやハトも嫉妬する？ <p>【応用行動分析】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 行動目標 客観って何？ シュール・ダンスは気分爽快！ 6. 行動観察法 安室はマイクを何回持ち替えるか？ 7. 実験計画法 なにが行動を制御してるのか？ 8. 査定 行動分析学に統計の知識はいらぬ？ | |
| 【評価方法】 レポート <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動分析の知識の確認 2. 応用行動分析（パフォーマンス・マネジメント） | |

| | |
|----------------|-------------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 久保田健市 |
|----------------|-------------|

| |
|-------------|
| 【開講期】 2年 前期 |
|-------------|

【授業目標】
 質問紙調査は、心理学の研究をはじめ、世論調査・マーケティングなどにも活用されている重要な研究手法である。この授業では、質問紙作成の基本的な知識と技法を学び、自分たちの手で簡単な調査を実施する。また、パソコンを用いたデータの処理やまとめ方について、基本的な技法を修得する。

【テキスト・参考書】
 (テキスト) プリントを適宜配布
 (参考書) 井上文夫・井上和子・小野能文・西垣悦代 よりよい社会調査をめざして 創元社
 内田 治・醍醐朝美 成功するアンケート調査入門 日本経済新聞社

授 業 計 画

授業は、「講義」と「実習」に分かれます。「実習」では、1～3グループに分かれて、自分たちで決めたテーマに従って、簡単な調査を行います。毎回の授業では、前半に講義をし、後半には話し合いや作業を自主的に行う形式に、なるべくしたいと思います。また、必要に応じて授業時間外にも話し合いや作業をするなど積極的な授業参加を希望します。

[授業の予定]

| コマ | 講 義 | 実 習 |
|----|------------------------|---------------------|
| ① | オリエンテーション, 質問紙調査法の概説 | 調査内容・調査計画の決定 |
| ② | 調査の計画 | ↓ |
| ③ | 質問文の作成法と注意点, 質問紙の構成・体裁 | 質問文・質問紙の作成 |
| ④ | 調査の方法 | ↓ |
| ⑤ | | ↓ |
| ⑥ | | 予備調査 |
| ⑦ | サンプリング方法 | サンプリングの実習 |
| ⑧ | | 本調査の実施, 調査表の回収・事後処理 |
| ⑨ | | データの入力 |
| ⑩ | グラフの利用法 | データの集計・解析 |
| ⑪ | | ↓ |
| ⑫ | | 図表の作成, 結果の解釈 |
| ⑬ | | 結果の報告(プレゼンテーション) |

[その他] レポート(報告書)の作成

【評価方法】
 実習への貢献度, レポートを総合して判断。

【授業科目名】 心理学研究法

【担当者】 江守麻子

【開講期】 2年 前期

【授業目標】心へのアプローチは脳へのアプローチでもある。従ってこの授業の目的のひとつは、心理学を学ぶ者にとって必要不可欠な、脳についての知識を提供することである。また、身体的な要因が心理に、また心理的な要因が身体に与える変化を、いくつかの実験によって明らかにする。これらの作業は「心の実体化」であり、心身の密接なつながりを実証することでもある。このような視点にたつことにより心の見え方、ひいては人間の見え方はどのように変わるだろうか。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない。

参考書：必要に応じてそのつど紹介する。

授 業 計 画

授業内容は（１）精神生理学、（２）生理心理学、（３）神経心理学の分野にまたがる。（１）、（２）では実験演習を中心に、（３）では講義を中心におこなう。

1. オリエンテーション
2. 精神作業時の心拍数の変化 ～実験の手順説明
3. <実験>
4. <実験>
5. データ整理と討論
6. EDA（虚偽検出） ～実験の手順説明
7. <実験>
8. <実験>
9. データ整理と討論
10. 神経心理学の最近のトピックス（分離脳、失語症）～講義
11. オペラント条件付けと報酬系 ～実験の手順説明
12. <実験>
13. データ整理と討論
14. 脳内物質その１（ストレスと脳内麻薬）～講義
15. 脳内物質その２（ドバミンと分裂病）～講義

【評価方法】

レポート

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 若山隆良 |
| 【開講期】 2 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>HTP法などの描画法を実際に体験することを主眼とし、描画のに象徴的な理解についての理解を深める</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて、印刷物を配布する</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>第1週 描画法についてのオリエンテーション</p> <p>第2~3週 バウムテスト</p> <p>第4~5週 風景構成法</p> <p>第7週 スクイッグル</p> <p>第週9~12週 HTP法</p> | |
| <p>【評価方法】 授業への参加の度合いと期末のレポートによって評価を行う 精神保健(2単位)</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 三浦和夫 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| 【授業目標】 心理療法の一技法である箱庭療法を実際に体験することを通して、自己理解を深める。 | |
| 【テキスト・参考書】 河合隼雄編 箱庭療法入門 誠信書房（特別に買わなくともよい） | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>#1 オリエンテーション ーグループ分け、箱庭作りに際しての留意点、レポートについてー</p> <p>#2 以後、箱庭制作実習（各自で箱庭作りに取り組む）</p> <p>最後の2回の授業をつかって</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 箱庭療法の理論ービデオ教材を使ってー 2) 箱庭療法の実際ー事例研究ー 3) まとめ ー全体での話し合い・体験のシェアリングー | |
| 【評価方法】 レポート | |

【授業科目名】 心理学研究法

【担当者】 中宮 敏之

【開 講 期】 2年 前期

【授業目標】

バイオフィードバックとは、生理過程の随意コントロールを開発する一手法である。この授業では、まず基礎となる精神生理学的な実習を行い、心と身体の関係を理解した上で、実際にバイオフィードバック訓練を実施し、その技法を習得することを目的とする。

【テキスト・参考書】

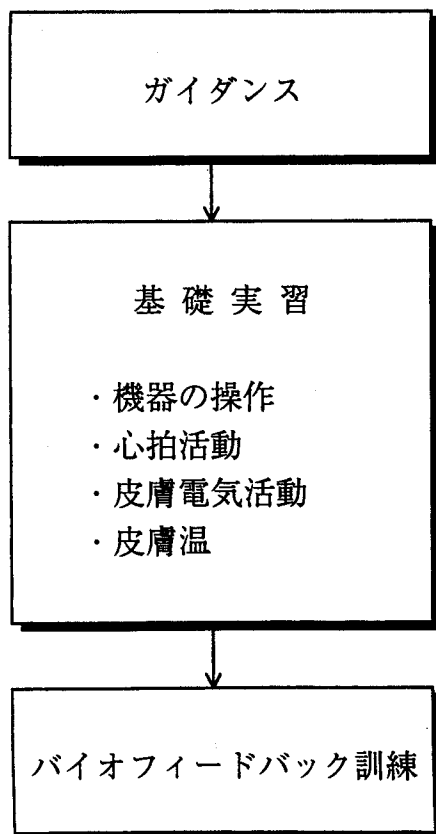
テキスト: 適宜、資料を配付する

参考書: 柿木昇治(編)「新 生理心理学 <2巻>」北大路書房, 1997

J. L. Andreassi 著 (辻敬一郎他訳)「心理生理学 -ヒトの行動と生理的反応-」ナカニシヤ出版, 1985

授 業 計 画

授業は、以下のように進める予定である。



バイオフィードバックとは何かということについて、簡単な例を紹介しながら解説する。

バイオフィードバックの背景にある人間の様々な生理的機能について説明するとともに、心と身体に関連性を実習を通して理解する。

また、バイオフィードバックを行うために必要となる機器の操作法や測定技術を身につける。

基礎実習を元にして、実際にバイオフィードバック訓練を実施し、その技法を習得する。

【評価方法】

実習ごとのレポートで評価する。

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】心理学研究法（カウンセリングの実際） | 【担当者】 川島 真 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>この授業でみなさんに身につけてもらいたいことは次の3点です。</p> <p>①カウンセリング・マインド ②カウンセリングの進め方や方法、面接技法の基礎知識 ③人間関係の中でカウンセリング的態度を使えるようになること</p> <p>これらの他に、専門家としてのカウンセラーは今どんな仕事をしているのか、そして最近の日本では、どのような心の問題が起こっているのか、についても学んでもらいたいと思います。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特に定めず、必要に応じて授業時にプリントを配布します 参考書：小林・川島・藤田『心理学AtoZ』学術図書出版社</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>「カウンセリングって何をやるのだろうか」、「カウンセラーとはどんな仕事なのか」を知り、カウンセリングの方法・進め方などを中心に学びます。</p> <p>この授業はビデオなどを使って事例にふれながら、わかりやすく具体的に進めていきたいと思っています。また、一方的な講義ではなく、意見・感想をお互いに言い合いながら、“考える”授業にしたいとも考えています。</p> <p style="text-align: center;">（授業予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会とカウンセリング 2 カウンセラーの仕事とその役割 3 青年のカウンセリング 4 現代青年を考える 5 子どものカウンセリング 6 現代社会と子どもたち 7 思春期のカウンセリング 8 学校カウンセラーの仕事 9 病院におけるカウンセラーの仕事 10 カウンセリング・面接・心理療法 11 面接の実際—面接の進め方と面接の技法 12 面接の技法 13 自分を考えてみよう | |
| <p>【評価方法】</p> <p>レポート試験を実施。レポート課題は第12回授業時に配布し、最終授業時に提出の予定。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。</p> | |

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 心理学研究法 | 【担当者】 菅沼 真樹 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>発達研究や質的研究において用いられる調査面接の技法を習得する。質問事項の設定、面接技能、結果の整理といった一通りの手続きを実習する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定はしないが、授業の中で適宜紹介していく。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1. 面接法の概観</p> <p>臨床面接と対比させながら、調査面接の特徴を概観する。面接の目的によってどのような面接法を選択すればよいのか、また、実施するためにはどのような準備が必要なのか、などについて学んでいく。</p> <p>2. 調査面接の実習</p> <p>面接者、被面接者役を体験する中で、実施上の面接技法を体得することを目指す。どのような面接姿勢が望ましいのかなどについて、実習をふりかえる中で考えていきたい。 (尚、面接結果の整理のために不可欠であるテープ起こしには、相当の労力を要します。)</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点(授業の中で課題を出していきます)</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 社会心理学 | 【担当者】 倉澤寿之 |
| 【開講期】 2年前期 | |
| 【授業目標】 他者がいることによって受けるさまざまな影響や、他者との間に起こるさまざまな心理学的プロセスを学び、他者と自己とのかかわりについて理解を深める。 | |
| 【テキスト・参考書】 特に指定しない。 | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 対人認知のゆがみ 2. 原因帰属と他者認知 3. 自己呈示 4. 好意と恋愛 5. 社会的促進と社会的抑制 6. 自己客体視 7. 自己知覚理論 8. 非言語的コミュニケーション 9. 集団とリーダー | |
| 【評価方法】 筆記試験 | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 性格心理学 | 【担当者】 穂苺千恵 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>「性格」という視点から人間を考える場合に生じる功罪について実例にそって学習する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：『はじめての臨床心理学』（1996）森谷寛之他編、北樹出版 参考書：『傷ついた子どもという神話』（1997）岩波書店</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>< P A R T 1 > 先人たちの性格論</p> <p>性格論に歴史的貢献をなした先人の発想について解説する。その際、偉人各々の人生を紹介しながら、理論が生み出される背景についても同時に考えてみたいと思っている。</p> <p>< P A R T 2 > 性格の形成</p> <p>「性格はどのようにして作られるのか」。これは古今東西を問わず人々の関心を惹きつけているテーマである。21世紀を目前にした今日、極端な遺伝論ないしは環境論を主張する人は少なく、「遺伝と環境の相互作用」という考え方が一般化している。</p> <p>講義では、幼児と母親の遊戯療法の自験例を紹介し、それに対する受講生の感想を聞きながら、「性格の形成」について多面的討論を試みたい。これに並行して、アダルト・チルドレンという概念の功罪についても検討してみたいと思う。</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>出席状況と課題レポート</p> | |

| | |
|--|--------------|
| 【授業科目名】 精神生理学 | 【担当者】 多喜乃 亮介 |
| 【開講期】 2 年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>意識を作り上げる脳の活動、およびその活動を反映する身体的変化を題材に取り上げる。実験研究を中心に、見る、聞く、感じるときに脳や身体にどのような変化が生じているのかを学ぶ。そこから心と体の関係、あるいは脳と心の関係について理解を深める。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>J.L. アンドレアッシ、『心理生理学』、ナカニシヤ出版、1985</p> <p>J. ハセツト、『精神生理学入門』、東京大学出版会、1987</p> <p>宮田 洋 他、『生理心理学』、朝倉書店、1985</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>基本的に人を対象とした実験例を中心に、心と体の関係について学習する、</p> <p>まず神経系の働きの基礎と測定方法について学び、次に精神活動の基盤となる意識を司る脳の働きについて学習する。ここでは睡眠と覚醒、なぜ人は眠るのか、といった問題に関連した研究を取り上げる。また、外部環境刺激に対する生体反応について、体の末梢に現れる自律神経系の反応と脳活動を測定したときの反応を紹介する。最後に高次脳機能研究の例として、注意、記憶、学習などと関連した脳の働きを紹介する。</p> <p>以下の項目に沿って講義を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心と体を結ぶ神経系の働きの基礎、測定方法 <ul style="list-style-type: none"> 中枢神経系と末梢神経系 体性神経系と自律神経系 脳の構造と代表的な中枢機能 2. 意識を司る脳の働き <ul style="list-style-type: none"> 睡眠・覚醒中枢と脳波の発生 徐波睡眠、REM睡眠、生体リズム、睡眠の発生 精神活動と脳波上の変化 3. 末梢に見られる生体反応 [自律神経系の反応] <ul style="list-style-type: none"> 汗腺活動、心臓血管系の反応 心理的要因と自律神経系の反応 情動理論と神経系の働き (扁桃核、視床下部、報酬系) 4. 脳に見られる活動 [中枢神経系の活動: EEG, MEG, PET, MRI, fMRI] <ul style="list-style-type: none"> 誘発反応 (体性感覚野、視覚野、聴覚野、脳幹) と事象関連電位 運動機能と脳活動 (運動野、補足運動野、小脳) 認知機能と脳活動 (頭頂連合野、側頭連合野、前頭連合野、海馬) | |
| <p>【評価方法】</p> <p>授業中の課題提出と定期試験</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 心理検査法 | 【担当者】 卯月研次 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>心理検査法の基礎的知識の習得と体験的理解</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：岡堂哲雄 1994 『心理テスト』 講談社現代新書</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>心理検査法の歴史、理論、意義などの基礎的事項を概観し、その基盤に立って各種心理検査の特徴や適用を身につけていく。</p> <p>心理検査には、質問紙法、投影法、知能検査等、多様な種類があるが、それぞれに精通して使いこなすまでには、多くのトレーニングを必要とする。この授業では、「心理検査」というものについての初歩的な知識にとどまらず、主要な心理検査についてはその基礎を身につけて欲しいと考えている。</p> <p>テキストは必ず持参すること。さらに、心理検査について興味とやる気のある者は、以下の参考書を持参することを勧める。</p> <p>< 参考書 ></p> <p>岡堂哲雄（編） 1993 『心理テスト入門』 ころの科学増刊 日本評論社</p> <p>大村政男（他編） 1985 『新訂・心理検査の理論と実際』 駿河台出版</p> | |
| 【評価方法】 レポートなど。 | |

| | |
|--|-----------|
| 【授業科目名】 カウンセリング | 【担当者】 林 潔 |
| 【開講期】 2年前期 | |
| 【授業目標】 カウンセリングの役割について理解します。 あわせて、さまざまなカウンセリング、心理療法の考え方についてとりあげます。 | |
| 【テキスト・参考書】 テキスト：内山，高野，田畑 「講座サイコセラピー1：カウンセリング」日本文化科学社 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 田畑治，他「来談者中心療法」，ピアーズ「わが魂にあうまで」， 国分康孝「カウンセリング・ワークブック」，ガーフィールド「心理療法」 内山喜久雄「登校拒否」，杉溪一言「カウンセラーの悩みと生きがい」 中西信男，他「最新カウンセリング入門」，上田閑照「十牛図」，他 | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの役割：悩む人と、悩ますもの（ストレッサー）について 2. カウンセリング，心理療法の流れ 3. カウンセリングの基本的立場の紹介： <ul style="list-style-type: none"> 精神分析，ユング派，実存的立場，臨床的カウンセリング，折衷主義， 行動論，認知行動論，その他 4. 来談者中心カウンセリング概説(1)：序 5. 同 (2)：Rogersの適応論と人格論(1) 6. 同 (3)：同 (2) 7. 同 (4)：来談者中心カウンセリングの方法(1) 8. 同 (5)：同 (2) 9. カウンセリングの倫理 10. カウンセリングの進め方VTR 11. 来談者中心カウンセリング概説(6)：応答訓練(1) 12. 同 (7)：同 (2) 13. 同 (8)：同 (3) | |
| 【評価方法】 平常点，中間試験，レポート | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 児童相談 | 【担当者】 神田信彦 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| 【授業目標】 子どもの不応の原因を理解する視点を持ち、相談を進める上での相談の方法、進め方や相談担当者の心構えを理解する。 | |
| 【テキスト・参考書】 なし | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近の子どもたちの不応行動 2. 心の発達と不応行動（1）－幼児期・学童期の問題（1）－ 3. 心の発達と不応行動（2）－幼児期・学童期の問題（2）－ 4. 心の発達と不応行動（3）－思春期の問題（1）－ 5. 心の発達と不応行動（4）－思春期の問題（2）－ 6. 不応行動の理解の方法 7. 相談の進め方（1）－インテークから相談開始まで－ 8. 相談の進め方（1）－相談担当者の心構え－ 9. 遊戯療法（1）－遊戯療法の意味とその種類－ 10. 遊戯療法（2）－箱庭療法－ 11. まとめ 12. 試験 | |
| 【評価方法】 試験と小レポート。出席重視 | |

| | |
|---|-----------|
| 【授業科目名】 心理療法 | 【担当者】 林 潔 |
| 【開講期】 2年後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>今日の代表的な心理療法の一つとして、行動療法の基礎について紹介します。行動療法は、実験心理学の心理療法への適用の試みとして知られています。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：「カウンセリング」と同じ 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 上里一郎「行動療法」、坂野雄二「認知行動療法」、 園田順一、他「子どもの臨床行動療法」、氏家寛「心理面接のノウハウ」、 ベック「認知行動療法」、中西信男、他「ストレス克服のためのカウンセリング」、他</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1.ふたたびカウンセリングの流れ 2.行動療法の特徴 3.行動療法と受理面接 4.行動療法のアウトライン VTR利用 5.行動療法の技術(1) 系統的脱感作 6.同 (2) フラッディング 7.同 (3) モデリング 8.同 (4) シェイピングと強化技法(1) 9.同 (5) シェイピングと強化技法(2) 10.同 (6) 消去 11.同 (7) アサーション訓練(1) 12.同 (8) アサーション訓練(2) 13.認知行動療法の技術 (1)：認知行動療法とは 14.同 (2)：Beckの立場を中心に 15.同 (3)：Ellisの立場を中心に 16.同 (4)：認知行動療法の技術 (1) 17.同 (5)：同 (2) | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，レポート</p> | |

| | | | |
|--|--|-------|------|
| 【授業科目名】 | コミュニケーション論 | 【担当者】 | 倉澤寿之 |
| 【開講期】 | 2年前期(集中) | | |
| 【授業目標】 | 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学ぶ。また、人間の相互作用をゲーム理論的に分析する立場を学ぶ。 | | |
| 【テキスト・参考書】 | 特に指定しない。 | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. ゲーム理論(第3日) <ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論による対人行動の分析 さまざまな戦略と人間行動 | | | |
| 【評価方法】 | 未定 | | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 非行の心理学 | 【担当者】 神田信彦 |
| 【開講期】 2年 後期 | |
| 【授業目標】 反社会的行動としての非行を心理学的に捉え直し、非行行為が生起するまでの個人内の心理的メカニズムや環境としての対人関係や社会・文化の問題点を捉える視点を養う。 | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：金子・神田・倉澤著「最後まで読める心理学」ブレーン出版</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 非行の動向 2. 非行理論 3. 非行の背景要因（1）－非行少年の認知と行動－ 4. 非行の背景要因（2）－家庭・学校－ 5. 非行の背景要因（3）－社会・文化－ 6. 非行のメカニズム（1）－盗みの心理－ 7. 非行のメカニズム（2）－暴力非行の心理－ 8. 非行のメカニズム（3）－暴力非行の心理－ 9. 非行のメカニズム（4）－薬物乱用の心理－ 10. 非行のメカニズム（5）－特異な事例の理解は可能か？－ 11. 特別講師による講義（最近の非行事例の特徴など） 12. まとめ 13. 試験 | |
| 【評価方法】 試験と小レポート。出席重視。 | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 障害児心理学 | 【担当者】 山田寿子 |
| 【開講期】 2 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ること为目标とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互連関を明らかにし、その原因を考えることが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的理解と実践のための基礎的知見を体系的に考えることが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の捉え方及び治療方法について述べる。</p> <p>授業は以下の項目にそって進める。</p> <p>§ 障害の定義</p> <p>第 1 章 障害児心理学の目的・課題</p> <p>第 2 章 診断とテスト</p> <p>第 3 章 障害の医学・生理学的基礎</p> <p>第 4 章 障害各論</p> <p>第 1 節 視覚障害</p> <p>第 2 節 聴覚障害</p> <p>第 3 節 肢体不自由</p> <p>第 4 節 精神発達遅滞</p> <p>第 5 節 自閉症</p> <p>第 6 節 言語障害</p> <p>第 7 節 学習障害</p> <p>第 8 節 重症心身障害</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>レポート</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 健康心理学 | 【担当者】 安田朝子 |
| 【開講期】 2 年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>健康心理学は、疾患予防と健康増進を目的とした新しい学問です。本講座では、健康とはどのような状態を指しているのか、健康獲得と維持のためにどのようなことが成し得るのか、について探っていきます。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>随時、資料を配布します。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>健康心理学は、時代の要請で生まれました。まずは、健康心理学誕生の背景から今日に至るまでのプロセスを辿っていきます。そして、健康であること、健康であることを失うこと、についての様々な考え方とその応用を紹介します。必要に応じて自己分析や演習の機会を設け、学生諸君の体験的理解を交えながら、授業を進めていきます。</p> <p>・予定しているテーマ</p> <p>健康心理学とは何か？ その誕生背景と学問的目標 健康とは？…健康を巡る闘争</p> <p>ストレス研究のいろいろ ストレスとは？…ストレス研究の紹介 ストレスとどう暮らすか</p> <p>「心」の問題、「体」の問題 「心」と「体」の関わり バランスをどうとるか</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>平常点、課題、および定期試験を総合的に評価します。</p> | |

| | |
|--|------------------|
| 【授業科目名】 心理学特講I | 【担当者】 林 潔 |
| 【開講期】 2年前期 | |
| 【授業目標】 今年は、心理学特講として、交流分析の実際について紹介します。 交流分析は、いわば精神分析をやさしくしたものとして知られており、人間関係を考えて行く場合の論理としてよく使われます。 | |
| 【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 杉田峰康「交流分析のすすめ」、池見酉次郎、他「セルフコントロール」、 新里里春「交流分析療法」、杉田峰康「交流分析」、新里里春「交流分析とエゴグラム」、 中村和子「わかりやすい交流分析」、他 | |
| 授 業 計 画 | |
| 1.精神分析と交流分析 2.交流分析のアウトライン 3.自我の構造分析(1)： エネルギー充当の対象：Critical Parent,Nurturing Parent,Adult,Free Child Adapted Child 4.同 (2)：排除，その他 5.同 (3)：エゴグラム 6.交流様式（人間関係の持ち方）の分析(1)：相補的交流，交差交流，裏面交流 7.同 (2)：交流の動機—ストローク，時間の構造化 8.同 (3)：自己と他者への基本的関係 9.自我状態の分析と適応上の問題 10.ゲーム分析(1)：ゲーム（適応上の問題をもたらす行動様式）について 11.ゲーム分析(2)：ラケットとデイスカウト 12.脚本分析(1)：脚本（反復強迫）の意味 13.脚本分析(2)：脚本のタイプと禁止令 14.脚本分析(3)：脚本からの脱出 （わかりやすいVTRがありますので，基本的にはVTR使った授業になります） | |
| 【評価方法】 平常点，中間試験，レポート | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 心理学特講II | 【担当者】 伊藤典幸 |
| 【開講期】 2年 後期 | |
| <p>【授業目標】 今後自らが社会生活の中で遭遇するであろう問題解決場面で心理学がいかに有効かを知るとともに、現実の場面で心理学の知識を活用しうる能力を身につけることを目標とする。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の中で必要に応じ紹介する。</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>1 回目の授業でイントロダクションとして、心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した後、2回目以降、下記のテーマについてより掘り下げた解説を行っていく。</p> <p>1. 居住空間の設計</p> <p>応用的な見地から現実の空間の中での人間の行動についての実験例、実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作り出すには、どのような設計をするべきかを心理学的な見地から考えていく。</p> <p>2. 事故とヒューマンエラー</p> <p>航空機事故の事例をとりあげ、事故原因におけるヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマン・マシン・インターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識していく。</p> <p>3. 教育訓練プログラムの体験学習</p> <p>米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されているコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここでは、このプログラム自体の意義を考えると同時に、トレーニングプログラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。</p> | |
| 【評価方法】 レポート | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 精神保健 | 【担当者】 青田洋一 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>(参考書) ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』(紀伊國屋書店)</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>おおよそ以下の項目にそって進める。</p> <p>①総論…精神障害とは？ 予防とは？</p> <p>②基本的用語の理解</p> <p style="padding-left: 40px;">不安, 恐怖, 強迫, 離人, 心気, 抑うつ, 躁, 幻覚, 妄想, せん妄 もうろう, 憑依, 痴呆, 健忘, e t c</p> <p>③精神障害の分類</p> <p>④精神分裂病</p> <p>⑤躁うつ病</p> <p>⑥神経症</p> <p>⑦その他の精神障害</p> <p>⑧精神障害の治療</p> <p>⑨精神障害と責任能力</p> <p>⑩精神医療の現状と問題点</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p style="padding-left: 40px;">定期試験 (テスト)</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】精神医学 | 【担当者】座間味宗和 |
| 【開講期】 2 年 後期 | |
| 【授業目標】 ① 精神医学の歴史的な変遷を講ずる。 ② 正常と病態心理の理解を深める。 ③ 精神障害の分類を概説する。 | |
| 【テキスト・参考書】 ① 心の医学 柏瀬宏隆著 朝倉書店 ② 読本—精神医学 坂部先平著 近代文芸社 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>精神医学という言葉は、きわめて古く、ライル (J. C. Reil) が1808年に初めて使用したと考えられている。そして、多角的な研究によって近年の精神医学は人間関係を明らかにする医学の一つとして理解されるようになってきた。とりわけ、昨今の科学研究の進歩は著しく、精神医学や心理学そして精神病理学などの領域が広くなり、対象も拡大化してきた。したがって、本講においては、歴史的な変遷、内因性、外因性、心因性などの精神障害を大別し、その成因論、診断論、治療論そして昨今の予防論について概説すると共に、可視的方法で理解を深めたい。</p> | |
| 【評価方法】 | |

司書科目（2年）

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 図書館サービス論 | 【担当者】 森崎富喜 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】 図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p> | |
| <p>【参考書】 「講座 図書館の理論と実際 7：利用者サービスと利用者教育」長澤雅男・小田光宏 共著 雄山閣 1991 「改訂 図書館活動」前島重方ほか 樹村房 1995）（図書館学シリーズ 6）</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>(1) 図書館とそのサービス 図書館活動の意義 図書館サービスの原則と形態（貸出、読書案内、情報サービス、利用者援助、教育・文化活動など）</p> <p>(2) 資料・情報提供サービス 資料・情報へのアクセス 資料・情報の利用 館種別資料・情報提供サービス</p> <p>(3) 利用教育 意義と内容 方法とメディア 館種別の利用教育</p> <p>(4) 利用対象別サービス 対象別サービスの種類 障害者サービス 図書館サービスとボランティア 多文化サービス</p> <p>(5) 図書館サービスと著作権 著作物と著作権 図書館における複製・複製 映画・音楽資料、データベース</p> <p>(6) 図書館サービスの協力 資料・情報の提供にかかわる図書館間、関連機関の連携・協力</p> <p>(7) 集会・文化活動など</p> | |
| <p>【評価方法】 授業時に行うミニテストと、期末試験</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 情報サービス概説 | 【担当者】 森崎富喜 |
| 【開講期】 2年 後期 | |
| 【授業目標】 情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結び付け人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等について総合的に学習する。 | |
| <p style="text-align: center;">【参考書】</p> 「レファレンスサービス 図書館における情報サービス」長澤雅男 丸善 1995 「情報サービス概説」小田光宏 日本図書館協会 1997 「情報サービス概説」渋谷嘉彦編 樹村房 1998 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>(1) 情報サービスについて レファレンスサービスから情報サービスへ 図書館が行う情報サービスの位置付け</p> <p>(2) 情報サービスの種類 直接的サービスと間接的サービス 各種図書館とサービス</p> <p>(3) 情報検索サービスの方法</p> <p>(4) 情報サービスのための情報源 印刷メディアと電子メディア 情報源の構築 館内で作成・編成する情報源 情報源の評価</p> <p>(5) 情報ニーズへの対応 情報探索行動とレファレンスプロセス 情報検索と回答</p> <p>(6) 情報サービスの管理</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">期末のテストと授業時に実施するミニレポート</p> | |

| | |
|--|------------|
| 【授業科目名】 レファレンスサービス演習 | 【担当者】 森崎富喜 |
| 【開講期】 2年 後期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする。</p> | |
| <p>【参考書】</p> <p>「情報と文献の探索」長澤雅男 丸善 1995（3版） 「レファレンスサービス演習」堀込静香編 樹村書房 1998</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>(1) レファレンスプロセスの実際 事例を示しながらレファレンスプロセスを説明</p> <p>(2) 情報源の種類と特性</p> <p>(3) 参考図書とレファレンスコレクション 参考図書の検討 参考図書の手引き 参考図書の種類 非図書資料 レファレンスコレクションの構築</p> <p>(4) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報源の提供まで</p> <p>(3) インフォメーションファイルの作成</p> <p>(4) 書誌の作成</p> | |
| <p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習課題レポートと、期末のレポート</p> | |

| | |
|---|------------|
| 【授業科目名】 専門資料論 | 【担当者】 森崎富喜 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| 【授業目標】 人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。 | |
| 【テキスト・参考書】 | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>I 各専門分野の特性 人文科学 社会科学 科学・技術分野</p> <p>II 人文科学 人文科学と文献 人文科学における文献利用の特性 資料の特性と二次資料 人文科学各部門における資料解題</p> <p>III 社会科学 社会科学と文献 社会科学における文献利用の特性 資料の特性と二次資料 社会科学各部門における資料解題</p> <p>IV 自然科学と技術 科学技術と文献 科学技術者の情報利用 資料の特性と二次資料 特許情報 会議録 規格 学位論文 テクニカル・レポート 医学資料 データベース 主な参考図書と書誌</p> <p>V 専門資料とメディアの多様化</p> | |
| 【評価方法】 | |

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 資料特論 | 【担当者】 落合 美代 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>郷土資料、行政資料、視聴覚資料等、資料がもつ特質と資料としての役割を追求し、選定 収集、利用、活用のために必要な知識を習得する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： なし</p> <p>参考書： 「レファレンス・サービス／実践とその分析」 大串夏身著 東京 青弓社 1993</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <p>資料保存の図書館から資料活用の図書館へと変貌している今日の図書館において、郷土資料や行政資料、視聴覚資料等の選定と収集は蔵書構成や運営についてより一層の特色をだすことができる。諸資料の特性を理解し、選定・収集・保存利用・活用のための知識と方法について学習する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料のもつ役割と特性 2. 図書館資料の多様化と特色ある蔵書構成 3. 資料の選定と収集・保存 4. 資料の利用と活用の実際 | |
| 【評価方法】 レポート | |

| | | | |
|--|--|-------|------|
| 【授業科目名】 | コミュニケーション論 | 【担当者】 | 倉澤寿之 |
| 【開講期】 | 2年前期(集中) | | |
| 【授業目標】 | 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学ぶ。また、人間の相互作用をゲーム理論的に分析する立場を学ぶ。 | | |
| 【テキスト・参考書】 | 特に指定しない。 | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. ゲーム理論(第3日) <ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論による対人行動の分析 さまざまな戦略と人間行動 | | | |
| 【評価方法】 | 未定 | | |

| | |
|---|-------------|
| 【授業科目名】 図書館特論 | 【担当者】 落合 美代 |
| 【開講期】 2年 前期 | |
| <p>【授業目標】</p> <p>多様化する図書館資料、特に視聴覚資料をより有効に活用するためのレファレンス・サービスについて考察し、役に立つ種々の機器操作を習得し、独自資料を制作するための知識と技術を実習を通して学習する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。</p> | |
| <p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： なし</p> <p>参考書： 1. 「視聴覚教育メディアの活用」 有光 成徳 他著 東京 (財)日本視聴覚教材センター 1992</p> <p>2. 「図書館サービスと著作権」 (図書館員選書10) 東京 日本図書館協会 1994</p> | |
| 授 業 計 画 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様化した図書館資料 (特に視聴覚資料) をより有効に利用活用するために必要な資料の特性、機器の特性を理解し、機器操作を学習する。 ・ ビデオ撮影、編集等の実習を通して自主教材・資料を制作するための技能を学習する。 ・ 視聴覚資料のレファレンス・サービスについて考察する。 <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視聴覚ライブラリーの運用と効用 2. 視聴覚資料活用のための資料・機器の特性と機器操作 3. 実習：自主資料制作・・・ビデオ撮影と編集の実際 4. メディア・ライブラリアンの資質 | |
| 【評価方法】 レポート / 自主制作ビデオ | |

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
教務課042(346)5619